

# 会 報

第596号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町2-31 南川 陽一内 Tel.090-7754-6633

yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

## ご挨拶

あけましておめでとうございます。皆様には良いお年をお迎えのことと存じます。

平成25年中は、会員の高齢化や会員数の減少傾向という現実を抱えつつも、皆様方のご協力を得て、全ての行事をとどこおりなく遂行する事が出来ました。ご協力、有難うございました。

本年も、引き続き厳しい年になると思われませんが、趣味の会として、楽しく前向きにやって行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

なお、今年は、和歌山映像クラブが創立(1954.12)60周年を迎える事になります。総会で記念行事のアウトラインを設定して頂きましたが、計画の遂行に向けて皆様とともに具体化して行きたいと思っております。



## <12月例会>

[日時・場所] 平成25年12月8日(日)13:00~16:00 於中央コミュニティセンター 2階活動室(5)

[出席] 岩崎、小野、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、的場、南川、宮原

<19名中11名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 川口、前田、山口

## 1. 平成25年度 和歌山映像クラブ総会報告

平成25年12月8日(日)13時から16時00分まで、中央コミュニティセンターで、当クラブの定期総会を開催しました。総会は、南川事務局長の総会成立宣言で始まり、議事日程に従って運営され会長の議事提案で前向きなご意見と充実した討議で、有意義な総会を和やかなうちに終了することができました。

総会の概要は次の通りです。(議案書参照)

### 1.1 [1] ~ [4] 総会の成立と諸表彰

- ・ 総会成立宣言:事務局長より構成人員19名、出席人員11名で、過半数の出席で総会成立宣言が行われました。
- ・ 会長挨拶:平成25年度の総会議事の審議をよろしくお願い致します。重点は会計です。
- ・ 諸表彰については議案通り全て実施することが出来ました。

### 1.2 [5] 平成25年度会務・行事・決算報告

- ① 5-1 月別行事概要、5-2平成25年度例会出席表、5-3平成25年度例会作品出品

記録について、異議がありませんでした。

- ② 5-4 役割分担に於ける各作業等の進捗と今後の対応については、各項とも25年度作業目標の成否項まで異議がありませんでした。今後の取組については、作業テーマの映像祭関係項目を武田新担当中心に整理するなど、前向きな発言を頂きました。

\*総会議案書P. 6～8参照

4. 映像祭会場の検討: 有利な会場を模索するが、現会場想定して、平成26年の映像祭日を10月26日(日)とし、予備日を10月25日(土)とする。  
アート・ホールの会場抽選日は、平成26年4月2日(水)10時。新担当: ◎武田、○桑野
5. 作業テーマ「年度賞コンクール」を県映像コンクール・NHK杯コンクール・年度賞コンクールを一括し「全コンクール」とする。作業計画として、年度賞コンクールにおいては、予算を工夫して平成26年も高野先生をメインに、同等レベルの指導を頂ける方を目標に6月を目途に決める。なお、年度賞コンクールの応募要項がないので運営基準 4. コンクールを見直し基準を明確にする。(P.7 運営基準参照)
6. 年度賞等の賞品の検討: 平成25年度と同等程度で推進する。賞品はBD-Rで良いとした。
7. テーマを設けてNHKの技術指導: NHKの意向を確認しながら対応策を考慮して行くが、県映像連盟加盟の全クラブをまとめて実施することが難しい場合でも、実施する場合は、今後情報も流して行く。新担当: ◎南川、○菱田  
県映像連盟総会・県映像連盟主催のコンクールでのNHKの指導体制については、今後も継続できるようにする。
8. クラブ撮影会: 毎回撮影地選びに苦慮するが、春秋の定期撮影会を実施する。参加賞は、経費節減のため廃止する。
11. 長欠者慰問: 長欠者について、平成26年1月、事務局にて取り扱いを整理する。  
なお、平成25年度については、昨年同様、映像祭のDVDを送付し慰問する。
14. 映像祭りハーフサル: 作業推進計画に、「場内アナウンサーは、前任者広橋氏の再起用も考慮する。」を追記する。新担当: ◎武田、○南川、小野
17. 映像祭の反省点の集約: 新担当: ◎武田、○南川、小野
18. 創立60周年記念事業: 記念事業として特別な経費を掛けないで、映像祭事業を活用して60周年を祝うと決定した。和歌山の映像特集を組み効果を高めるよう工夫し、和歌山映像クラブの存在を一般にアピールする。新担当: ◎小野、○南川、武田
- 1、2、3、9、10、12、13、15、16、項については、平成25年の実績を踏まえて改善継続して行く。なお、新担当については、原則として平成25年度の担当者が受け持つこととし、一部修正も行った。(1. 4 [7] 運営・企画分担参照)

- ⑤ 5-6 平成25年度決算について、桑野会計担当より報告が行われました。年会費の未収者が1名あること、新入会員の加入目標も達成されませんでした。支出では、映像祭開催費等で、予算を上回る出費があり、今年は繰越金がほぼなくなりました。

なお、平成25年度の映像祭および年度賞の出品料については、未収分があり、次年度の収入に一括計上することとしました。

### 1. 3 [6] 会計監査報告

12月3日(火)、山口監査に平成25年度和歌山映像クラブ会計決算報告の監査を受けました。会計収支記録、関係帳票、通帳残高が正確であることが確認され、承認を得ました。

#### 1. 4 [7] 運営・企画分担

- ① 7-1 平成26年度の運営・企画新分担は、会員の高齢化による体調等を考慮して、一部担当の変更で7-1の表の通り提案しましたが、山口会員のライブラリー副担当を事務所運営副担当に変更して承認されました。なお、本年度役割は、総会議案書5-4平成26年度の作業(P. 6~8)の項の新担当をも含めたものになります。
- ② 7-2 本年は役員改選期ではないので、会長以下全員の残任期について確認しました。
- ③ 7-3 県映像連盟の運営体制は、非改選期のため残任期について確認しました。なお、県映像連盟総会に当クラブから参加する評議員2名は、事務局長南川氏と総会前に幹事の中より互選される1名が、平成25年3月23日開催予定の県映像連盟総会に出席して頂くこととなります。

#### 1. 5 [8] 平成26年度行事計画と予算案

- ① 8-1 平成26年度行事計画については特に異議はありませんでした。
- ② 8-2 平成26年度の予算案

平成26年度の予算案は、平成25年の実績を参考にして節約予算を作成しました。なお、収支バランスを安定化するため、映像祭、年度賞コンクール参加料 1作品¥2, 000 は出品作品に添えて納入、および、例会出席者に1回300円程度の会場費を集めてはどうかなどについて、今後、再検討するとの条件付きで承認されました。

#### 1. 6 [9] 会則・運営基準見直し

別添「和歌山映像クラブ会則」においてアンダーラインところが、実態に合わせて修正され、承認されました。

#### [10] その他

緊急連絡網で、菱田→武田→桑野ルートを、武田→桑野→菱田に変更し承認されました。

**採決** :平成25年度総会議案において、平成25年度実施結果分、決算、平成26年度計画と予算を、夫々一括採決を行ったところ一部修正を含め、原案通り満場一致で承認されました。



平成25年度 年度賞等表彰式記念

## 2. 平成25年 第43回県映像コンクール審査結果発表

平成25年12月12日、NHK和歌山放送局 放送部畑中健太郎氏より、下記の通り、第43回県映像コンクール審査結果の発表がありました。入賞された方おめでとうございます。

2.1 審査総評(概要) 審査担当:NHK和歌山放送局放送部 チーフカメラマン 畑中 健太郎氏  
チーフディレクター 西坂 克也氏

第43回県映像コンクールの審査評は、厳しいものになりましたが、ご了解をお願いします。

今回の審査では、作品性に重点を置いて点数をつけさせていただきました。

「見ている人に何を伝えたいのか、狙いを明確にする。」ということ強く意識してほしいと感じました。目の前で起きている事や出会ったものをただ並べただけでは作品になりません。

具体的な狙いを以って臨めばもっと面白くなります。今まで、この様なことを意識していなかった方は、作品にストーリー性を持たせ見ている人にさすがとってもらえるものを目指してみると新しい世界が開けるかもしれません。

### 2.2 審査結果

賞	出品者	タイトル	時間	所属
和歌山県知事賞	南川陽一	「中国格安旅行の検証」	15:00	和歌山
和歌山県議会議長賞	森 裕治	「紀州備長炭 1000℃の炎と闘う父子」	13:40	紀南
和歌山県教育委員会賞	岩崎好宏	「ヒレンジャク」	5:00	和歌山
和歌山県観光連盟会長賞	桑野 強	「ラ フェスタ プリマヴェラ 2013」	10:00	和歌山
和歌山県アマチュア映像連盟賞	武田雅治	「友ヶ島探訪」	6:00	和歌山

※なお、総評および個別の評価は県映像連盟会報83号に掲載されていますので、ご参照下さい。

## 3. クラブ忘年会

平成25年、当クラブ忘年会を、12月12日紀三井寺「はやし」で開催しました。

日程：17時～18時 入浴時間、18時～20時 宴会。

出席者：岩崎、小野、川口、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、的場、南川、宮原の12名

今年の忘年懇親会に北野顧問もお見えになる予定でしたが、所用のため来られず残念でした。平素話題とならない昔の思いで話し、若い頃彼も私と同じような趣味で楽しんでいたのか。夫々の思い出を種に楽しい時間をすごす事ができ、和気あいあいの有意義なひと時でした。

## 4. 年会費の納入のお願い

平成25年度のクラブ年会費未納の方は、お手数ですが例会に持参または郵便振替で、年会費 ¥7,000をお納め下さるようお願いいたします。

振込取扱票はゆうちょ銀行(郵便局窓口)でもらえます。振込みは下記の口座をお願いします。

口座記号            口座番号            加入者名  
00950 - 4 - 268902    小野 誠之

### 次回の例会

日時：平成26年1月12日(第2日曜日)13時00分から16時30分

会場：中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行事：ビデオ作品上映と情報交換等

当番：(メイン)中口、(サブ)川嶋

## 和歌山映像クラブ会則

平成25年12月 8日改訂

1. 名 称 本会は、『和歌山映像クラブ』と称する。
2. 事務局 本会の事務局は、会長宅または事務局長宅におく。
3. 目 的 本会は、アマチュア映像の愛好者が集まり、映像制作に関する技術の向上と、  
会員相互の親睦を図る。
4. 構 成 本会は、アマチュア映像の愛好者で構成し、性別・年齢は問わない。
5. 事 業 本会は、目的達成のため次の事業を行う。
  5. 1 毎月1回例会(12月は総会)を開催し、会報を発行する。
  5. 2 随時撮影会・研究会・コンクール・作品発表映写会などを催す。
  5. 3 各地同好会との交流又は親睦を図る。
  5. 4 会員の希望により、新製品の紹介、物品・資材の共同購入を行う。
  5. 5 賞を設け、毎年末の総会において表彰する。  
賞は「運営基準」による。
6. 役 員 本会に、次の役員をおく。
  6. 1 会長1名の他、副会長、事務局長、会計、会計監査、幹事をおく。
    - ① 会長は、会を統括し、本会を代表する。
    - ② 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
    - ③ 事務局長は、本会の事務を統括し、会員ならびに他団体との連絡を担当する。
    - ④ 会計は、本会の会計を掌握し、毎年総会で会計報告を行う。
    - ⑤ 会計監査は、会計の監査を行い、その結果を総会に報告する。
    - ⑥ 幹事は、本会行事の企画・記録・会報の発行などを担当する。  
(例会・研究会・撮影会などの企画運営を含む。)
  6. 2 前項に規定する役員の外、会長が役員会の承認を得て顧問、相談役を委託することが出来る。
7. 役員を選出
  7. 1 会長は、次のいずれかの方法により、総会において選出する。
    - ① 総会における会員の互選
    - ② 役員会の総会への推挙
  7. 2 副会長・事務局長・会計・幹事は、会長が任命する。
  7. 3 会計監査は、総会において選出する。
8. 役員任期  
役員任期は、総会の翌日から、次年度の総会の日までの2年間とする。
9. 機 関 本会に、次の機関を置く。
  9. 1 総 会
    - ① 総会は、本会の最高決議機関で、毎年12月に開催する。  
また必要に応じて、会長が臨時総会を招集することができる。

- ② 総会の成立は、構成人員の過半数とし、議決は出席人員の過半数とする。  
委任状による出席は認める。
- ③ 議長は、会長がこれに当たる。
- ④ 総会の決議事項は、次の事項とする。
  - a. 会長、および会計監査を選出する。
  - b. 前年度の行事および会計決算の審議、承認
  - c. 新年度の行事計画および予算案の審議
  - d. 会則の改定
  - e. その他重要な事項

#### 9.2 役員会

- ① 役員会は、会長が招集し、本会の運営に関する必要事項を協議する。

### 10. 会 計

本会の運営資金は、入会金・通常会費・臨時会費・寄付金および補助金などの収入をもってこれに充てる。

- 10.1 入会金は1,000円とする。

- 10.2 通常会費:

上半期(1~6月)3,500円、下半期(7~12月)3,500円とし、1年分を総会時に納入する。

- 10.3 中途入会者は入会時期に応じて納入する。

- 10.4 納入済みの会費は返却しない。

- 10.5 臨時会費: 総会懇親会費など、必要に応じて徴収する。

- 10.6 会計年度: 本会の会計年度は、総会日の月初めから、次年度総会前月末までとする。

### 11. 入退会

- 11.1 本人の申し出による。但し、入会については会員の推薦を必要とする。

- 11.2 年間1回も例会・総会・その他の本会行事に参加なく、会費の納入が3ヶ月以上ないものは、自主退会と認める。

### 12. 慶弔慰

会員本人に不幸のあった時、香典として1万円を供え弔慰を表わす。

また、クラブ間の交流の一つとして、必要に応じ祝・弔電をもって敬意を表す。

- 《付 則》
- ① 本会則に定めなき事項は、役員会の協議によって採決し、総会または例会で会員に報告する。
  - ② 本会則は平成25年12月8日より実施する。

## 1. 例会

### 1.1 [第一部] 作品発表タイム

- ① 発表作品は、新作・旧作・改作を問わない。
- ② 原則としてタイトルをつけ、編集を完了したもの。
- ③ 原則15分以内のもの。長編も可とするが、上映途中で打ち切る場合もある。
- ④ 映像の貸し借りは可とする。(場合により不可とすることもある)
- ⑤ 著作権・肖像権などに充分注意すること。

### 1.2 [第二部] 事務連絡タイム

- ① 本会運営上必要な事務連絡を行う。

### 1.3 [第三部] 試写・情報交換タイム

- ① 本編集、ラッシュ、試験的・実験的映像の試写、再写による意見交換・助言・相談など、作品制作向上のための場とする。
- ② 参考作品を上映する。
- ③ 技術情報を交換する。

## 2. 研究会

- ① 作品の完成度を高めるため、適宜開催する。
- ② 必要に応じて、外部より講師を招聘する。
- ③ 開催日・テーマなどは、例会または会報で通知する。
- ④ 撮影会の事前・事後の研究の場としても利用する。

## 3. 撮影会

- ① 担当役員が会員の要望も勘案して企画し、詳細は例会・会報で通知する。

## 4. コンクール

- ① 「年度賞コンクール」として、年1回、11月に行う。
- ② 年間、例会発表作品を以って行う。但し、他のコンクールでの入賞(金、銀、銅、佳作)作品は除く。
- ③ 審査は原則として第三者(作品について講評の出来る人)に委嘱する。

## 5. 賞

### 5.1 年度賞コンクール表彰

- ① 金賞(1名) 金賞には生馬賞(生馬杯)を授与する。生馬賞は本会創設者・故生馬 茂氏を記念して設けられたもので、本会において最高の荣誉賞とする。
- ② 銀賞(1名)
- ③ 銅賞(1名)  
 <上記3賞にはそれぞれに杯(持ちまわり)と、副賞又はレプリカを授与する。>
- ④ 佳作賞(若干名) <賞品を授与する。>

### 5.2 奨励賞

- ① 受賞者を除き、年間を通じて1作品以上の出品者に対し、今後に向けて映像制作意欲の推進を奨励するため授与する。

### 5.3 例会年間最多出品賞(1名)

- ① 年間を通じて例会に作品を最も多く出品し、例会を盛り上げ、出品意欲の向上に寄与した者に授与する。

### 5.4 皆勤賞

- ① 毎月の例会と総会に欠かさず出席した会員に授与する。
- ② 但し、年1回に限り「作品出席」・・・本人欠席・・・も認めることにする。

## 6. 和歌山県アマチュア映像連盟への加入

本会会員は、目的達成のため、和歌山県アマチュア映像連盟に自動的に加入する。  
 会費は、当分の間、クラブ会計を以ってこれにあてる。

# 会 報

第597号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町 2-31 南川 陽一内 Tel.073-423-0390  
yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

## ご挨拶

昨年末の総会で新年度の運営計画、予算を設定して頂きましたが、今年は、それを皆さんと共に具体的に進めて行きたいと思っています。

そこで、今月は、当クラブの創立60周年という節目を機に、新事業に取り組むべく、それに対応できるような体制を整えるための検討と承認を得たいと考え、例会に先立って臨時総会の開催を実施しました。

皆さんの忌憚のないご意見を出し合っただき、新事業を推進できるよう承認をお願いします。



## <臨時総会>

[日時・場所] 平成26年1月12日(日)13:00~14:30 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 岩崎、小野、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、南川、宮原

<18名中 10名出席>

[届出欠席] 川口、北野、前田、的場、山口 (欠席:島森・中谷・西本)

平成26年1月12日(日)13時から14時30分まで、中央コミュニティセンターで、当クラブの臨時総会を開催しました。総会は南川事務局長が出席者数(10名)を確認し臨時総会成立を宣言し、小野会長が趣旨説明をし、下記の新事業の関する議題を検討、全員賛成で承認されました。

## 記

### 議 題

1. 新規事業「一般のビデオ愛好者に対し、活動支援」の実施  
一般のビデオ趣味活動を支援し、会員増に繋げる。
2. 「きのくにふれあい学習研究会」への加入  
「きのくにふれあい学習研究会」を上記、新規事業「ビデオ活動の支援」の場とする。  
「きのくにふれあい学習研究会」の事業協力に伴いクラブ経費節減に繋げる。
3. 新規事業取り組みに伴う会則改定  
事業として運営推進を行うため。
4. 今後の取り組み  
新事業運営に対する具体的な取り組み方は、例会等で協議する。

なお、「きのくにふれあい学習研究会」は、県立図書館文化情報センターが主管している事業で、県の生涯学習の支援・実践を行っている会です。

1月22日(水) 県立図書館文化情報センターに「きのくにふれあい学習研究会新規加入希望書」を提出しました。

別添・参考資料

1. きのくにふれあい学習研究会 新規加入希望書
2. 「きのくにふれあい学習研究会」会則
3. 「きのくにふれあい学習研究会」登録名簿
4. 和歌山映像クラブ会則(改訂)
5. 和歌山映像クラブ運営基準(改訂)

以上

---

◇

## <1月例会>

[日時・場所] 平成26年1月12日(日)13:00~16:00 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 岩崎、小野、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、南川、宮原

<18名中10名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 川口、北野、前田、的場、山口

[ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 蒸気機関車 和歌山線 SD(テレシネ) 4分 桑野 強

海南市在住の田嶋さん宅倉庫に眠っていた8mmフィルムをデジタル化した作品です。和歌山市から五条市まで黒煙を出して走っている蒸気機関車及び、50年前の懐かしい和歌山線沿線の映像です。

2. ファンタステック平池 HD 5分10秒 岩崎 好宏

紀の川市貴志川の平池で年末からイルミネーションが点灯されます。色とりどりの色彩が水面にゆれ映る場面が幻想的です。おまけとして海南の民家のイルミネーションも撮影しています。

今回はSDメモリーカードに保存して出品します。

3. 和歌山城・雪景色 HD 3分50秒 宮原 昌弘

平成23年2月11日と14日に和歌山で27年振り6センチの積雪がありました。その時撮影したものです。

4. お城再建フェスタ HD 7分 宮原 昌弘

昨年秋の撮影会で写したものです。紅葉のシーンにお城再建フェスタのシーンを入れました。

5. 下駄づくり体験 SD 6分 武田 雅治

海南市黒江公民館で、下駄の鼻緒のすげ方の体験教室がありました。その模様を撮影していたのを、再編集して短くしました。

最近撮影してくれという依頼がよく入ります。単なる記録作品といえども只時系列に並べるだけでは面白くないので如何に観てもらおう人に、なるほどと言ってもらえるような作品に仕上げるよう心がけています。

#### 6. 和歌浦分団消防出初式      HD              16分                      中口 清治

1月3日和歌浦御手洗池で、恒例の和歌浦分団消防出初式を撮影してきました。今年は、和歌祭・唐船御船歌の歌い始めも加わり年頭の気分を盛り上げていました。気持ちを新たに今年も頑張りたいと思いますのでよろしくお祈りします。(時間オーバーお許しください。)

#### 7. 和歌山城の秋                      HD              9分45秒                      南川 陽一

今回はビデオカメラではなくキャノンの一眼レフEOS-70Dを使って動画撮影しました。立冬、小雪、大雪を区切りとして和歌山城の紅葉の変化を追いました。

### [ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

#### 1. 第45回県映像連盟総会提出議案のまとめ

総会 日 時:3月23日(日) 9:30~16:00

場 所:打田生涯学習センター

##### 1) 第44回県映像連盟総会より持越し議案の検討

1-1 総会における議長・書記の選出方法についての現状及び問題点は下記の通りです。

①県連の会則では副会長が議長を勤めることが決められています。

②副会長がスムーズに議長に就任していただくため総務事業担当では副会長に議長を引き受けてくれるように根回しをし、総会当日総会で議長推薦を行い、総会の承認を受けて議長に就いてもらっています。

③此の実態に対し加盟クラブより「議長は総会出席者の中から当日決定する。」との提案がありました。

④総会の当日、総会構成メンバーの中から決めるとなれば時間的な効率は悪くなりますので、和歌山映像クラブは下記の通り提案します。

提案文:議長当番クラブと書記当番クラブは各クラブの持ち回り方式とします。

議長と書記は当番クラブの総会構成メンバーの中から当番クラブの皆さんで選出し総会に推薦します。

議長と書記は同一クラブより出さないようにします。(要会則改訂)

##### 1-2 交流会について

お互いに撮影会等の行事開催日時、場所等最低必要事項を連絡しあい、会員が自由に参加できるような環境作りを考えます。

総会の昼食時、クラブ毎に集まる傾向があるので、互いに他のクラブの会員と隣り合うような席順を考えます。

##### 1-3 NHK杯映像コンクール作品のテーマ設定方法について

会員がテーマを提案できる参加型の方法として下記を提案します。

「各クラブから一テーマを12月末までに提出してもらい、テーマ選定事業担当者(森氏)がそれらを見て総合的に判断してテーマを確定し、総会で発表する。」

##### 1-4 総会の運営時間の短縮

重要テーマに絞り、議長が時間を意識して議事進行に努めます。

## 2) 本年第45回総会提案事項

当クラブより新たな提案事項の発言がありませんでした。

## 2. 今後の当クラブの日程

2月 2日(日) 2月例会 中央コミュニティセンター活動室4-5

3月 2日(日) 3月例会 中央コミュニティセンター活動室2

3月23日(日) 県映像連盟定期総会に出席

4月 6日(日) 4月例会 中央コミュニティセンター2F活動室2

5月 4日〔日〕 5月例会 中央コミュニティセンター2F活動室2

なお、当クラブの事業推進はそれぞれの担当で運営管理を宜しく願います。

## [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

### 1. 4K映像のデータ処理

5分

南川 陽一

ソニーの4kビデオカメラ(FDR-AX1)で撮影したデータがビデオサロンに付録として付いていました。このデータをEDIUS Neo3.0で取り込んで、フルハイビジョンとしての編集が可能かテストしました。

結果は編集可能で、映像は大変シャープなものでした。

4Kビデオカメラ…皆さま、そろそろいかがでしょうか。



ソニーFDR-AX1 341000円



ソニーFDR-AX100 198000円

## ..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年2月2日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会 場 : 中央コミュニティセンター 2階活動室4-5

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行 事 : ビデオ作品上映と情報交換等

当 番 : (メイン)川嶋・(サブ)菱田

「きのくにふれあい学習研究会」登録名簿

役員	団体名	代表者指名	ふれあいルーム教室
会長	新和歌山 NPO	木野 学	紙紐工芸・絵手紙・囲碁教室
副会長	健康生きがいづくり一座	市野 弘	書道・太極拳・カラーセラピー教室
副会長		徳田 直季	デジカメ・パソコン教室
理事	和歌山ヨーガセラピー研究会	岡 良夫	セラピーヨーガ教室
理事	オープンガーデンわかやま	貝原 博	寄せ植え教室
理事	健康生きがいづくり一座	市野 弘	太極拳教室(朋友太斗)
理事	新和歌山 NPO	木野 学	囲碁教室
理事	わかやま折り紙の会	宮土 恵子	親子折り紙教室
理事	ななこの会	森 勝代	お手玉遊び教室
	わかやま楽落会	栗本 哲志	こども落語ワークショップ
	“和歌山ライブの歩き方”お達者倶楽部	岩橋 和廣	ライブ井戸端会議
	新和歌山 NPO	木野 学	紙手紙教室
	健康生きがいづくり一座	市野 弘	書道教室(紅珪書院)
	和歌山囲碁ボール協会	白坂 登志子	囲碁ボール教室
	新和歌山 NPO	木野 学	健康体操教室
	健康生きがいづくり一座	市野 弘	カラーセラピー教室(色サラダ)
	アナログレコード倶楽部	鳴神 薫夫	アナログレコード鑑賞会
	新和歌山 NPO	木野 学	紙紐工芸教室
	NPO 法人市民の力わかやま	山本 智子	IT はじめの一步講座(パソコン・スマートホン)
	和歌山映像研究会	中里 佳世	映像・映画学習会
	いきいき和歌山がんサポート	石井 浩子	がんサロン
			教室
			教室
			教室
		徳田 直季	(広報活動部)
顧問		村崎 隆志	
事務局	文化情報センター	谷口 義彦	
	同上	上田 智之	

## 和歌山映像クラブ会則

平成26年1月12日改訂

1. 名 称 本会は、『和歌山映像クラブ』と称する。
2. 事務局 本会の事務局は、会長宅または事務局長宅におく。
3. 目 的 本会は、アマチュア映像の愛好者が集まり、映像制作に関する技術の向上と、  
会員相互の親睦を図ると共に一般のビデオ愛好者の活動を支援する。
4. 構 成 本会は、アマチュア映像の愛好者で構成し、性別・年齢は問わない。
5. 事 業 本会は、目的達成のため次の事業を行う。
  5. 1 毎月1回例会(12月は総会)を開催し、会報を発行する。
  5. 2 随時撮影会・研究会・コンクール・作品発表映写会などを催す。
  5. 3 各地同好会との交流又は親睦を図る。
  5. 4 一般のビデオ愛好者に対し、映像学習研究会を実施する。
  5. 5 会員の希望により、新製品の紹介、物品・資材の共同購入を行う。
  5. 6 賞を設け、毎年末の総会において表彰する。  
賞は「運営基準」による。
6. 役 員 本会に、次の役員をおく。
  6. 1 会長1名の他、副会長、事務局長、会計、会計監査、幹事をおく。
    - ① 会長は、会を統括し、本会を代表する。
    - ② 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
    - ③ 事務局長は、本会の事務を統括し、会員ならびに他団体との連絡を担当する。
    - ④ 会計は、本会の会計を掌握し、毎年総会で会計報告を行う。
    - ⑤ 会計監査は、会計の監査を行い、その結果を総会に報告する。
    - ⑥ 幹事は、本会行事の企画・記録・会報の発行などを担当する。  
(例会・研究会・撮影会などの企画運営を含む。)
  6. 2 前項に規定する役員の外、会長が役員会の承認を得て顧問、相談役を委託することが出来る。
7. 役員を選出
  7. 1 会長は、次のいずれかの方法により、総会において選出する。
    - ① 総会における会員の互選
    - ② 役員会の総会への推挙
  7. 2 副会長・事務局長・会計・幹事は、会長が任命する。
  7. 3 会計監査は、総会において選出する。
8. 役員任期  
役員任期は、総会の翌日から、次年度の総会の日までの2年間とする。
9. 機 関 本会に、次の機関を置く。
  9. 1 総 会
    - ① 総会は、本会の最高決議機関で、毎年12月に開催する。  
また必要に応じて、会長が臨時総会を招集することができる。

- ② 総会の成立は、構成人員の過半数とし、議決は出席人員の過半数とする。  
委任状による出席は認める。
- ③ 議長は、会長がこれに当たる。
- ④ 総会の決議事項は、次の事項とする。
  - a. 会長、および会計監査を選出する。
  - b. 前年度の行事および会計決算の審議、承認
  - c. 新年度の行事計画および予算案の審議
  - d. 会則の改定
  - e. その他重要な事項

## 9.2 役員会

- ① 役員会は、会長が招集し、本会の運営に関する必要事項を協議する。

## 10. 会計

本会の運営資金は、入会金・通常会費・臨時会費・寄付金および補助金などの収入をもってこれに充てる。

- 10.1 入会金は1,000円とする。

- 10.2 通常会費:

上半期（1～6月）3,500円、下半期（7～12月）3,500円とし、1年分を総会時に納入する。

- 10.3 中途入会者は入会時期に応じて納入する。

- 10.4 納入済みの会費は返却しない。

- 10.5 臨時会費： 総会懇親会費など、必要に応じて徴収する。

- 10.6 会計年度： 本会の会計年度は、総会日から、次年度総会日前日までとする。

## 11. 入退会

- 11.1 本人の申し出による。但し、入会については会員の推薦を必要とする。

- 11.2 年間1回も例会・総会・その他の本会行事に参加なく、会費の納入が3ヶ月以上ないものは、自主退会と認める。

## 12. 慶弔慰

会員本人に不幸のあった時、香典として1万円を供え弔慰を表わす。

また、クラブ間の交流の一つとして、必要に応じ祝・弔電をもって敬意を表す。

- 《付 則》
- ① 本会則に定めなき事項は、役員会の協議によって採決し、総会または例会で会員に報告する。
  - ② 本会則は平成26年1月12日より実施する。

【運営基準】

平成26年 1月12日改訂

1. 例会

1.1 [第一部] 作品発表タイム

- ① 発表作品は、新作・旧作・改作を問わない。
- ② 原則としてタイトルをつけ、編集を完了したもの。
- ③ 原則15分以内のもの。長編も可とするが、上映途中で打ち切る場合もある。
- ④ 映像の貸し借りは可とする。(場合により不可とすることもある)
- ⑤ 著作権・肖像権などに充分注意すること。

1.2 [第二部] 事務連絡タイム

- ① 本会運営上必要な事務連絡を行う。

1.3 [第三部] 試写・情報交換タイム

- ① 本編集、ラッシュ、試験的・実験的映像の試写、再写による意見交換・助言・相談など、作品制作向上のための場とする。
- ② 参考作品を上映する。
- ③ 技術情報を交換する。

2. 研究会

- ① 作品の完成度を高めるため、適宜開催する。
- ② 必要に応じて、外部より講師を招聘する。
- ③ 開催日・テーマなどは、例会または会報で通知する。
- ④ 撮影会の事前・事後の研究の場としても利用する。

3. 撮影会

- ① 担当役員が会員の要望も勘案して企画し、詳細は例会・会報で通知する。

4. コンクール

- ① 「年度賞コンクール」として、年1回、11月に行う。
- ② 年間、例会発表作品を以って行う。
- ③ 審査は原則として第三者(作品について講評の出来る人)に委嘱する。

5. 賞

5.1 年度賞コンクール表彰

- ① 金賞(1名) 金賞には生馬賞(生馬杯)を授与する。生馬賞は本会創設者・故生馬茂を記念して設けられたもので、本会において最高の荣誉賞とする。

- ② 銀賞(1名)

- ③ 銅賞(1名)

<上記3賞にはそれぞれに杯(持ちまわり)と、副賞又はレプリカを授与する。>

- ④ 佳作賞(若干名)

5.2 奨励賞

- ① 年間を通じて1作品以上の出品者に対し、今後に向けて映像制作意欲の推進を奨励するため授与する。

5.3 例会年間最多出品賞(1名)

- ① 年間を通じて例会に作品を最も多く出品し、例会を盛り上げ、出品意欲の向上に寄与した者に授与する。

5.4 皆勤賞

- ① 毎月の例会と総会に欠かさず出席した会員に授与する。
- ② 但し、年1回に限り「作品出席」・・・本人欠席・・・も認めることにする。

6. 和歌山県アマチュア映像連盟への加入

本会会員は、目的達成のため、和歌山県アマチュア映像連盟に自動的に加入する。  
会費は、当分の間、クラブ会計を以ってこれにあてる。

7. きのくにふれあい学習研究会への加入

一般のビデオへの関心を高めることを目的として、きのくにふれあい学習研究会へ加入する。

# 会 報

第598号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町 2-31 南川 陽一内 Tel.073-423-0390

yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

本日は、わかやま国体への運営準備会合のため、欠席させていただきます。2月例会では、平成26年度から取り組む「きのくにふれあい学習研究会」への入会に伴う事業企画関係と 県映像連盟「第45回総会」の準備について検討して頂き、それぞれ対応して行きたいと思っています。



## <2月例会>

[日時・場所] 平成26年 2月 2日(日)13:00~16:00 於中央コミュニティセンター 2階活動室(4-5)

[出席] 岩崎、川嶋、武田、中口、中嶋、菱田、南川、宮原

<18名中8名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 小野、川口、桑野、前田、的場、山口

## [ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. かゆうらない HD 4分54秒 川嶋 健弘  
須佐神社の粥占い今年も行って来ました。有田地方は今年災害もなくミカンも沢山採れるそうです。
2. 天空レーザービーム HD 17分00秒 岩崎 好宏  
昨年10月、那智勝浦町の下里に海上保安庁の水路観測所を見学しました。ここは人工衛星の監視所で、運よく実際にレーザー光線の発射しているところも見学ができました。
3. 和歌山城の秋 HD 10分 中口 清治  
秋のクラブ撮影会参加作品です。和歌山城の秋の風景を楽しみながら撮影しました。
4. 和歌山城散策 HD 7分40秒 武田 雅治  
去年秋、和歌山城の撮影会の編集でEndingをどのようにしたらよいかと迷っています。作品を作るときいつもEndingで悩みます。どなたか良い方法があれば教えてください。
5. 白馬三山縦走 HD 15分 南川 陽一  
昨年の年度賞コンクールで高野先生からご指摘のあった事項を含め、白馬登頂の日の映像を加えて再編集しました。
6. 第7回あじさい祭り HD 6分21秒 宮原 昌弘  
6月9日有田川町吉原若者広場で第7回あじさい祭りが盛大にありました。

## [ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

### 1. 「きのくにふれあい学習研究会」入会について

1月22日 県立図書館 文化情報センター 当研究会事務局に加入を申し込みました。

2月 6日 当研究会理事会で入会審査が行われ、特に異議がなかったとのことです。

2月21日 きのくに学習メニューブック原稿提出

3月20日 同総会開催(予定)

総会に提案・承認されることになるが、今後は、事務局の指示に対応していくこと  
になります。なお、オブザーバーとして参加できるかも……

今後の作業:文化情報センターだよりに掲載する教室名・PR内容の準備(2月中旬まで)  
教室のニックネーム「やさしい ビデオ教室」に決定

その他の案 「楽しいぞ！ビデオ教室」、「楽しいぞ！私にもできるビデオ教室」、  
「楽しいぞ！誰にもできるビデオ教室」、「楽しいぞ！ビデオ作成教室」、  
「楽しいぞ！ビデオ作り教室」、「私にもできるビデオ教室」、  
「誰にもできるビデオ教室」、「みんなのビデオ教室」、  
「やさしいビデオ作り教室」、「やさしいビデオ作り」

### 2. 県映像連盟総会議案の検討

県映像連盟 会報 第84号に添付の総会検討資料に目を通して、意見があれば評議員に申し  
出て下さい。〔重点は、9ページ 平成26年度事業計画〕

評議員:南川、( )

\* ( ) 内は、総会出席予定者の中から人選します。

〔意見〕 昼食を弁当にし会場で食べてはどうか? ……保留

### 3. 県映像連盟、拡大役員会の開催について

県映像連盟の総会議事運営の効率化のため、重点事項について事前検討を行うため、拡大  
役員会を開催することになりました。

1)開 催 日 平成26年3月1日(土) 13:00～

2)会 場 紀の川市打田生涯学習センター活動室

3)出席予定者 県映像連盟役員及び評議員の中から、各クラブ2～3名(人選は、各クラブ  
会長に一任)をお願いします。

4)議 題 ・平成26年度事業計画の検討と総会提案のまとめ  
・役員改選事項について

なお、和歌山映像クラブより、小野、中口、岩崎の皆さんを予定しています。

### 4. 和歌山映像クラブの県映像連盟総会出席予定者

4. 1 NHK杯、楯の返還 岩崎(銀賞杯)、南川、宮原(佳作楯)

4. 2 受賞者:県映像コンクール 南川(県知事賞)、岩崎(県教育委員会賞)、  
桑野(県観光連盟会長賞)、武田(県映像連盟賞)

4. 3 NHK杯映像コンクール 武田(金賞)、南川(佳作)

4. 4 その他出席者:小野、中口(役員)、川嶋(オブザーバー)

4. 5 配車 名前は車提供者

A車:南川、岩崎、宮原 B車:武田、川嶋、菱田(?), 桑野 C車:小野、中口

## 5. 今後の当クラブの日程

- 3月 2日(日) 3月例会 中央コミュニティセンター2F活動室2  
3月23日(日) 県映像連盟定期総会に出席  
4月 6日(日) 4月例会 中央コミュニティセンター2F活動室2  
5月 4日〔日〕 5月例会 中央コミュニティセンター2F活動室2  
6月 8日〔日〕 6月例会 中央コミュニティセンター2F活動室2

会場の都合で第一日曜日より、第二日曜日に変更させていただきます。

お間違いのないようご注意ください。

なお、当クラブの事業推進はそれぞれの担当者で運営管理を宜しくお願いします。

## [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

### 1. ビデオ作品のバックアップ

岩崎 好宏

ビデオ SALON の2月号に「HDV/DV データのバックアップ」という記事が掲載されています。要約すると、DV テープに保存してある作品をファイル化して、外付けハードディスクや光ディスクにバックアップしようということです。これはわが意を得たりで、私はいままで VHS や DV テープに保管している作品をパソコンに取り込んでファイル化してハードディスクや DVD に保管していました。そこでこの記事の要点と私の方法を踏まえて主な点を書いておきます。

1. i・LINK端子搭載のパソコンが激減しているのでテープのデータ保存が急務である。
2. DV テープを DVD ビデオにすると圧縮方式が変わり解像度が落ちるのでバックアップといえない。
3. ファイルをそのまま DVD メディアや HDD に保存すればテープと同じ画質で保存できる。
4. メリットはファイル形式に制約がなく、編集素材としてすぐに流用できる。
5. デメリットは DVD プレーヤーで再生ができなく、DVD ビデオよりデータ量が大きくなる。
6. パソコンの性能が向上しているのでHDVデータのままでスムーズに再生ができる。
7. 外付けHDDはUSB3. 0の2TBがおすすめ、データを移動しなくてビデオ編集に使える。  
(但し、USB3. 0端子のないパソコンでは編集はデータを内蔵ディスクにコピーすること)
8. メディアはDVD-Rがよいが、DVなら20分、HDVなら23分程度しか入らない。
9. それ以上長い作品はブルーレイディスクを使うことにする。
10. HDDに保存の場合はフォルダーを上手に使うこと。
11. 「撮影年」や「撮影日」の階層を作ると整理ができる。

DVD 保存だからといって  
必ずしも「DVDビデオ」にする必要はない!



▲ 同じ DVD メディアを使っても「VIDEO\_TS」と「AUDIO\_TS」フォルダーを保存すれば DVD ビデオになり、それ以外ならデータ DVD になる。それぞれ図のようなメリット/デメリットがある。

## ..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年3月2日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会 場 : 中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行 事 : ビデオ作品上映と情報交換等

当 番 : (メイン) 菱田・(サブ) 桑野

# 会 報

第599号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町 2-31 南川 陽一内 Tel. 073-423-0390  
yminagaw@kd5. so-net. ne. jp

寒さも幾分緩んで、暖かく感じられるようになってきました。遠ざかっていたビデオ撮影にも積極的に取り組み作品づくりを始めて頂きたいと思います。

また、県映像連盟の総会への参加、当クラブの平成26年度新規事業計画も確実に進めて行きたいと考えていますのでご協力をお願いします。

## <3月例会>

[日時・場所] 平成26年 3月 2日(日) 13:00~16:00

於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 有田、岩崎、小野、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、南川、宮原

<19名中10名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 川口、菱田、前田、的場、山口

## 新会員紹介

3月の例会で入会された「有田 俊雄(ありだ としお)」さん(65才)を紹介します。

有田さんのビデオカメラはソニーHDR-AX2000 で編集ソフトは我々と同じEDIUS Neo3 です。  
新しい仲間を心から歓迎します。

[ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 憧れのニュージーランド・氷河フライト編 SD 9分00秒 岩崎 好宏

2000年11月にニュージーランドで撮影したビデオを再編集しました。今回はマウントクックの氷河へ行ったときの記録です。

2. 銀世界 HD 7分00秒 中口 清治

2月14日の雪の日、和歌浦の雪景色を撮影しました。曇天の中、白い雪と赤やピンクの花が、美しく見えるように努力しました。結果は……？

3. カラオケ「湯島の白梅」 HD 3分26秒 宮原 昌弘

H26. 2. 23に四季の郷で撮影した梅です。何か作品にと思いましたが、カラオケ風に仕上げました。

- |   |          |       |       |
|---|----------|-------|-------|
| 4. よさこい(けやき編)   | HD       | 7分40秒 | 有田 俊雄 |
| よさこい祭りのけやき大通りでの演技を撮影したものです。編集においては音のつながりに注意しました                                   |          |       |       |
| 5. 和歌山放送インタビューと放送   | HD       | 9分00秒 | 南川 陽一 |
| 和歌山市提供のラジオ番組「ゲンキ和歌山市」の収録が2月19日NPO・ボランティアサロンD会議室でありました。その時の模様とラジオ放送です。             |          |       |       |
| 6. 雪の和歌山市   | HD       | 5分50秒 | 南川 陽一 |
| 2月14日に和歌山市では3年ぶりの大雪となりました。見慣れた和歌山城も雪化粧をして大変きれいでした。                                |          |       |       |
| 7. 和歌山電気軌道(市電)  | SD(テレシネ) | 6分50秒 | 桑野 強  |
| 海南市在住の田嶋さん宅倉庫に眠っていた 8mm フィルムをデジタル化した作品です。<br>和歌山電気軌道線廃線前の1971年1月から5月に撮影した貴重な映像です。 |          |       |       |

## [ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

### 1. 県映像連盟拡大役員会報告

平成26年3月1日(土) 13:00～ 打田生涯学習センター

出席者: 松山会長、北森、坂東、田中、森、藤谷、小川、小野、岩崎、中口 計10名

既報の通り拡大役員会で、第45回定期総会を時間内にスムーズに終了させるため、問題点を総会前に整理・対応策を検討しました。議題の主なもの、平成26年度事業計画です。

その結果を総会に提案し承認して頂くことになりました。

本会報では、重点検討事項の結論を掲載します。

#### (1) 平成26年度 事業計画

##### 1-1 議長・書記の選出について

- ・議長の選出については、現状の方法がベターですので従来通りの方法で選出します。
- ・書記の総会議事記録作成は経験の少ない方に対する作業負担が大きいので、現状通り総会事業担当で行うことになりました。
- ・議事確認のための記録は、県連総務担当が適任の方をお願いします。

##### 1-2 交流会について

- ・現在の交流会の実態を踏まえ、先ず総会に会員が積極的に出席することにします。  
そのため、現総会構成メンバーを改め、多くの会員の出席を得て、交流の糸口を見つけたいと思います。多くの会員の出席を得るように会則の改訂を行います。
- ・各クラブ行事に他クラブ員の参加希望があれば、自由に参加させて頂くことができることを相互に確認しました。

##### 1-3 NHK杯映像コンクール作品のテーマ設定方法について

- ・会員からのテーマ提供は歓迎するが、そのテーマをそのままストレートに採用するものではなく、事業担当者の意向を加味して設定することになりました。

以下、(2)事業担当の反省と問題点の改善と希望、(3)各クラブ内の問題と新提案、

(4)平成26年度の定例事業計画の詳細については、定期総会に出席するか、総会終了後に発行される会報第85号で確認して下さい。

### 2. 県映像連盟総会出席者確認

平成26年3月23日(日) 9:30～ 紀の川市打田生涯学習センター

小野(役員)、中口(役員)、南川(評議員、NHK杯返還、知事賞受賞、NHK杯受賞)、  
岩崎(評議員、NHK杯返還、県教育委員会賞受賞)、  
武田(県映像連盟賞受賞、NHK杯受賞)、宮原(NHK杯返還)、川嶋、有田 計8名  
\* 桑野(県観光連盟会長賞受賞) = 欠席  
配車(●中口、小野、●南川、岩崎、●武田、川嶋、宮原、●有田)

### 3. WBSラジオカフェ生出演

平成26年3月9日(日)13:30~45 生放送(出演:小野、南川)で出演しました。

和歌山放送(ラジオ)が、毎週日曜日、13時から放送する「ラジオカフェ」という番組で、その中に「元気の秘訣 シニアサークルを紹介」というコーナーがあります。

そのコーナーへの出演に和歌山映像クラブが選ばれ、小野と南川が生放送にチャレンジしてきました。放送内容は、和歌山映像クラブのシニア会員が元気にビデオ活動を楽しみ、その映像制作のよろこびを生かして、「和歌山を元気にする活動に貢献したい」という、大きな希望を持っていることを、和歌山映像クラブのPRも含め、赤井 ゆかりアナウンサーと我々2人のなごやかな会話を通じて訴えてきました。

話が弾み、10分の予定が15分にもなりましたが、リスナーに我々の意図することが伝わったかな?..  
放送を無事終了したことを報告します。



WBS和歌山放送赤井アナウンサーと小野、南川

尚、このときの様子はビデオ撮影していますので次回4月6日(日)の例会で上映する予定です。

### 4. 「きのくにふれあい学習研究会」加入承認

平成26年3月20日(木)10:00~12:25 県立図書館 文化情報センター(2F) 講義・研修室で「きのくにふれあい学習研究会」総会が開催されました。

総会は加入24団体の代表者の出席があり、和歌山映像クラブは新規入会の一員としてオブザーバーで出席しました。

和歌山映像クラブは講座名「やさしいビデオ教室」として本日の総会で加入が承認されました。

総会は平成26年度の日程、役員改選、各教室の決算、会費、傷害保険徴収(新規)などの審議

が行われました。

当教室関連では年間会費(500円)保険料(350円)の負担が発生します。

## 5. やさしいビデオ教室の企画検討

5月25日(日)の第1回開催に向けて、実施方法、プログラム、資料等の作成作業を始めます。

- ① 受講申し込み書の用意
- ② 出席簿の用意
- ③ 講座プログラムの作成と講師の選任
- ④ 講座方針(案)
  - ・撮影上の基礎知識(作業)の説明
  - ・何人かのグループに分けてのビデオカメラ実写指導
  - ・撮影した映像を上映して、撮影指導
  - ・ノーカット撮影について

## 6. 春の撮影会

高野山のシャクナゲを撮影します。

撮影日は5月初旬として、咲き具合を見て決めます。

## 7. 各事業役割分担報告

各事業分担担当者から事業の進捗状況と問題点など情報交換をしました。

なお、当クラブの事業推進はそれぞれの担当で運営管理を宜しくお願いします。

## 8. その他

- ・わかやま城を大掃除 ボランティア活動に参加

平成26年3月15日(土)10:00～11:00 わかやま国体に向けて、和歌山城の大掃除が和歌山市市民協働推進課の主催で行われました。幸い快晴に恵まれ多くの人に参加され、当クラブからは小野、中口が参加し、主に落ち葉、雑草の収集に汗を流しました。

## [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

特になし

### ..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年4月6日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会 場 : 中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行 事 : ビデオ作品上映と情報交換等

次回例会のテーマ:創立60周年記念映像祭企画について検討したいので、  
会員各位のアイデアを用意しておいて下さい。

当 番 : (メイン) 桑野・(サブ) 南川

# 会 報

第600号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町2-31 南川 陽一内 Tel. 073-423-0390  
yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

桜も散り果て、鯉のぼりの季節となりました。昔は、街を歩くと風車が風を受けてガラガラと音をたてて、多くの大きな鯉のぼりが大空を元気に泳いでいましたが、今は、街中では殆ど見かけなくなりました。あってもマンションの窓に小さいのが、ちよろちよろ申し訳なさそうに……。大きいのは一体どこに行ったのかしら……。泳いでいました。ダムや、川を横断して多くの鯉が……。

天気が良いので、ビデオカメラを持って町中の鯉のぼりを探しにいかがか？今のうちに撮っておかないとなくなるかも。

## <4月例会>

[日時・場所] 平成26年4月6日(日)13:00～16:50 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 北野、有田、小野、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、的場、南川、宮原、大森、田中 <21名中14名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 岩崎、川口、前田、山口

## 新会員紹介

今月は2名の方が入会されました。新しい仲間が増えて嬉しいことです。

皆さんよろしくお願ひします。

大森 茂男(おおもり しげお)さん (86才)

カメラ: CANON iVUS HF-M51 SONY HDR SR-7

編集ソフト: VideoStudio PRO3

田中 正男(たなか のぶお)さん (65才)

カメラ: CANON iVUS HF-S11

編集ソフト: VideoStudio Ultimate

[ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 南部梅林と鶴の湯温泉 HD 7分00秒 宮原 昌弘

早朝体操のメンバー有志で南部梅林と鶴の湯温泉に行った時のものです。

2. 観心寺 HD 6分00秒 宮原 昌弘

平成17年5月10日友人と観心寺に行った時、撮影したものです。

3. 春のおとずれ「シロウオ漁」 HD 4分20秒 有田 俊雄  
春を告げる「シロウオ」を、江戸時代から湯浅地方に伝わる伝統的な漁法で、四つ手網を用い掬い取るようすを撮影しています。
4. かやぶきの薬師宮・清水町 SD 6分00秒 菱田 公造  
10年くらい前までは映像素材を探して各地をドライブしたのですが今は、その機会もめっきり少なくなってしまうました。その10数年前のある休日清水町をドライブ中に見つけた薬師堂の風景です。先ずBGMを決めてそれに合わせた6分間の映像です。
5. 加太見て歩記 HD 18分00秒 田中 正男  
クリスマス・イルミネーションを80才のおばあさんに頼まれました。
6. 金閣寺と餘部 HD 12分00秒 大森 茂男  
日本海へ行ったついでに金閣寺へ寄りました。久しぶりです。昔より大勢の人が見物に来ています。外国人も混じって大賑わいです。翌日178号線より餘部鉄橋まで41mの高さで、上るのにしんどい駅でした。
7. 名勝和歌の浦観月会 竹燈夜in妹背山 HD 12分00秒 中口 清治  
和歌の浦が国の名勝に指定されたのを機に、和歌の浦で活動する団体の協力で、第一回名勝和歌の浦観月会 竹燈夜in妹背山が開催されました。
8. ラジオ生出演 体験記 HD 16分30秒 南川 陽一  
WBS和歌山放送の生出演を体験してきました。

## [ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

### 1. きのくに ふれあい学習研究会総会報告

平成26年3月20日(木)10:00~12:25 県立図書館文化情報センター 2F研修室

出席者:加入24団体代表、オブザーバー:新加入4団体代表者

議 題:加入者紹介、遊 ing日程、役員改選、年会費徴収ほか

今総会で、当クラブを含め4団体の新年度(平成26年度)からの加入が認められました。

### 2. やさしいビデオ教室(きのくに ふれあい学習研究会)

第1回講座 5月25日(日)

① 卓上講座

② 実習講座

・上記講座の実施に当たり、学習プログラムの作成を企画チームメンバー(南川、武田、中口、菱田、有田、川嶋、宮原、小野)で行います。

・第1回検討会を4月10日(木)に予定していますので、各位において企画の提案のご用意をお願いします。

### 3. 創立60周年記念映像祭企画

開催予定日 10月26日(日) または、遊 ingイベントの中での開催(11月9日[日]or15日[土]、16日[日])

・映像祭実施企画は、事業担当の武田さんを中心に、みんなで進めたいと思います。

・新旧作品で、上映作品候補を提案(作品タイトルと時間)してください。(平成23年~25年の映像祭発表作品を除く。)

・各自、何点でも随時、写楽で作品名を提案してください。最終は5月例会で調整しまとめたいと思います。

#### 4. 平成26年度NHK杯コンクール「テーマ=ドキュメント」への応募確認

5月31日(土)締切 作品は、5月29日(木)写楽で提出して下さい。(作品名は、「仮題」を含む。)

南川:和歌山城の秋	小野:未定	中口:うつろひ 冬～春
大森:未定	菱田:未定	
的場:未定	武田:未定	
有田:未定	川嶋:未定	
田中:加太見て歩記	宮原:未定	

#### 5. その他

新会員の入会に伴い、新メンバー表を作成しました。(別添)

### [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

#### 1. 4K地獄の誘惑

南川 陽一

現在使用中のビデオカメラSONY HDR-CX550Vの不満点は、遠景描写に切れが無いことと、ズームを最望遠側にしたときの映像がボケボケで使いものにならないことです。

編集ソフトはEDIUS Neo3.0です。そこで使われたタイトル文字は大変鮮明に録画されますので、私を感じる撮影画像の不満は、編集ソフトの問題や2Kフルハイビジョンの限界とかいうことではないと考えます。これは恐らくビデオカメラのレンズ性能の悪さによるものと推測しました。

ビデオカメラは4年前に10万円ほどで購入したのですが、レンズも本体もGPSも含めて10万円で販売するには、レンズに掛けられるコストはそれほど多くなく、これが精一杯の性能でしょう。

このカメラはワイドの時やクローズアップの時は結構シャープな感じの映像で不満はありません。

この値段でこれだけの性能があれば充分でしょう。しかし、何とかしてもう少し美しい絵を撮りたいと思い、一眼レフによる動画撮影を試行してみました。

ボディはCANON EOS70D、レンズはEF24-105mmF4 L と EFS17-55mmF2.8です。一本のレンズだけでもビデオカメラCX550V以上の値段がします。レンズ性能はビデオカメラのものに比べ、はるかに優秀です。(このときの作品は「和歌山城の秋」としてまとめました。)

ここで期待したのは一眼レフで撮影した動画は、遠景でも静止画と同じ様な美しい動画、静止画が連続したようなクリアーな動画の再現です。

結果は期待はずれです。もちろんビデオカメラに比べ色調の美しさや長焦点レンズによるバックのボケの美しさなどはありますが、遠景では静止画のようなクリアーさはありません。

ここで登場するのが4Kカメラで、岩崎さんがこの度購入されたSONY FDR-AX100です。



CANON EOS70D



SONY FDR-AX100

岩崎さんのYou Tubeのページ「<http://www.youtube.com/user/JA3CF>」に4Kカメラの動画が紹介されていますので是非ご覧下さい。(GoogleでJA3CFのキーコードでも開きます。)

この時、画面下の「設定」⇒「画質」は必ず1440以上にして、「全画面」にして見て下さい。

私のビデオカメラで不満であった遠景の描写は実にクリアで素晴らしいものです。下の写真は4K動画から切り出したものです。



まさに「美しい静止画の連続」といった感じです。解像度や収差から見たレンズ性能は4Kビデオカメラに比べ恐らく一眼レフのレンズの方がはるかに上でしょうが、2Kのビデオカメラや一眼レフの動画では見ることの出来なかった遠景の鮮明さがここにはあります。

この鮮明さはレンズ性能から来るものではなくて4Kというフォーマットから来るものでしょう。

You Tubeの動画を見ているパソコンのモニターは4Kではなく2Kにもかかわらず、この鮮明さは驚きです。

4Kの映像を4Kのテレビで再生した時の映像はどのようなものかと想像するだけでワクワクします。

我々ビデオ仲間の感覚は食欲で、美しいものには弱く出来ています。このような映像を見てしまいますと、皆さんも間もなく4K地獄の誘惑に引き込まれるのではないかと心配しています。

#### ..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年5月4日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会 場 : 中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行 事 : ビデオ作品上映と情報交換等

当 番 : (メイン) 南川・(サブ) 武田

# 会 報

第601号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町 2-31 南川 陽一内 Tel. 073-423-0390

yminagaw@kd5. so-net. ne. jp

端午の節句も終わり、青葉の美しい季節となってきました。昔、8mmフィルム時代(モノクロ)に赤いフィルターを使って、赤外効果をねらい、萌える青葉をテーマに撮影したことが、思い出されます。現在のビデオは、カラーなので、何か工夫して、青葉の季節を特殊表現できないものでしょうか？……

## <5月例会>

[日時・場所] 平成26年 5月 4日(日)13:00~16:50 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 北野、有田、岩崎、大森、川嶋、桑野、武田、田中、中口、中嶋、菱田、的場、南川、  
宮原、 <21名中14名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 小野、川口、前田、山口

[第一部] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. カラオケ 風枕 HD 3分46秒 宮原 昌弘  
カラオケに緑色の桜のシーンを入れてみました。
2. 友ヶ島探訪 HD 6分27秒 大森 茂男  
何年ぶりか3回目の友ヶ島です。要塞、灯台などを見学して来ました。大阪からの人が多いようです。戦時中のことを思い出します。陸軍省の石碑など驚きました。
3. 旧中筋家住宅 HD 4分41秒 有田 俊雄  
10年に渡って保存修理された江戸時代末期の和佐組大庄屋の屋敷で、重要文化財です。
4. マジカルミュージック HD 5分00秒 南川 陽一  
4月27日(日)に公園前から本町にかけて第九回わかやまマジカルミュージックツアーが行われました。120組のアーティストが参加され、路上でも10箇所演奏され大変にぎやかな楽しいイベントでした。
5. 紀州浪漫 HD 12分20秒 田中 正男  
夫婦で南紀の小旅行を楽しみました。妻のナビも大変グッドでした。
6. 和歌の浦花めぐり HD 8分30秒 中口 清治  
今年2月から5月3日までに撮りためた映像を、和歌の浦花めぐりとしてまとめるつもりで、取りあえず編集ラインに並べてみました。季節の移り変わりを感じる作品になればと思っています。
7. 願成寺 HD 5分30秒 武田 雅治  
4月18日願成寺の仏像が年1回の御開帳となりましたので、特別撮影を許されましたのですが、

足場が悪く手振れの部分もありますが、4月上旬に桜を映していましたのでそれに揃めて作品にしました。あとナレーションを入れるつもりです。

8. 「私立イルカ中学校」 HD 7分00秒 岩崎 好宏

2014年の3月、ハワイへ家族旅行をしました。そのとき、孫たちとイルカと泳ぐツアーに行ったときの記録です。水中はiPhone5で簡単な防水ケースに入れての撮影でした。

[ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

1. 平成26年度NHK杯コンクール「テーマ=ドキュメント」への応募確認

5月31日(土)締切 作品は、5月29日(木)写楽で提出して下さい。

有田	春の訪れ(4:20)	中口	和歌の浦花めぐり(9:00)
岩崎	「私立イルカ中学校」(7:00)	中嶋	作品なし
小野	あれから〇年(10:00)	菱田	未定
大森	友ヶ島探訪(6:27)	的場	作品なし
川嶋	未定	南川	和歌山城の秋
桑野	未定	宮原	未定
武田	未定	山口	未確認
田中	作品なし		

2. 創立60周年記念映像祭企画進捗状況

・開催予定日 10月26日(日)

または、遊 ingイベントの中での開催(11月9日[日]or15日[土]、16日[日])

・上映作品の選定

各自の上映希望作品のタイトルと時間を早急に、事業担当の武田さんに連絡してください。

・作業行程表を作成し、準備をお願いします。

3. やさしいビデオ教室(きのくに ふれあい学習研究会)

第1回講座 5月25日(日)

・講座プログラムについて、南川さんから提案があり、一部修正のうえ準備します。

・募集ビラ配布場所(中央コミュニティーセンター・市NPOセンター・県情報文化センター、ニュース和歌山)

・ニュース和歌山の取材

5月7日(水) 県立図書館の二階でニュース和歌山の取材を受けました。

テーマは「和歌山映像クラブ」と「やさしいビデオ教室」です。

出席者:有田、岩崎、小野、川嶋、桑野、武田、南川、宮原

5月17日発行のニュース和歌山に記事が掲載されましたので、ご覧下さい。

4. 春の撮影会

5月6日(火・祝)10時 高野山・金剛峯寺駐車場集合 計11名

○武田-北野、桑野、中口 ○川嶋-的場、宮原 ○南川-岩崎、有田の10名が、3台の車に分乗して参加しました。

今回は、高野山にお住いの西本さんの案内で、壇上伽藍、金剛三昧院、金剛峯寺の石楠花を中心に効率よく撮影でき、3時すぎ高野山を後にしました。



高野山撮影会 根本大塔 参加者11名

#### 5. 平成26年度、年度賞コンクール審査員の選考

今年も高野先生に依頼することが出席者全員で一致しました。

5月13日、高野先生に連絡したところ、先生は、お元気で「今と同じように体調が良ければ行かせてもらいます。」との了解を得ました。

#### 6. NHKマイビデオ投稿時の注意事項

県映像連盟の事務作業「NHK後援名義使用申請」のため、NHK和歌山放送局、畑中さんにお会いしました。その時の談話の中で、最近のマイビデオ投稿は、花のシーズンのためか、花の映像が多く、マイビデオの番組としては、バライテイに富んだ内容にしたいので、花以外の映像も投稿して欲しいとの希望がありました。また、安定した映像を撮影するために原則として三脚を使って撮影して欲しいとの話がありましたので報告します。

### [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

#### 1. 2K⇒4K変換テスト

的場 信治

ビデオスタジオX6の4K編集機能を使えば、2K映像が4Kへのアップ・コンバージョン効果が出るのではないかと期待があったのでテストした。

AVCHDで編集した2Kフルハイビジョンの作品をビデオスタジオX6に取り込んで4K編集を行い再度DVDに書き出してオリジナルのものと見比べテストをしたが画像の改善は確認できなかった。

## 2. 4K撮影を経験して

岩崎 好宏

ビデオ撮影を趣味として30年。新しい技術や機器にすごく関心があり、それをいち早く手に入れ、使うことに大いに喜びを感じていました。その延長に4Kビデオカメラがあります。しかし、そのカメラは大きく高価で、雲の上の存在でした。それでもネットや雑誌で4Kのことを読んでみると、「すごく高画質でこれを経験するともう後に戻れない。しかも2K(フルHD)のモニターやテレビで見ても鮮明な画像が得られる」とあります。「ほんとかよ～大げさに書いているなあ」と半信半疑でした。

1月の半ばにソニーが突然小形軽量の4Kハンディカム FDR-AX100 の発表がありました。その価格も20万円程度だとのこと。しかも1.0型センサー搭載しています。これなら絶対使ってみたくて3月下旬発売と同時に購入を決めたのです。

私の環境は全く4Kに対応していません。

モニターはフルHDで、テレビときたら11年前の42型プラズマで、当時は最高品質でしたが今では骨董品です。

そんな状況で、テスト撮影した映像を写してみました。

本当にすごい！

遠くに写った隣家の屋根瓦の一枚一枚がくっきり出ているではありませんか。聞きしも勝る高画質に圧倒されてしまいました。それに1.0型センサーのために一眼レフで撮影した画像のようにバックがボケてピントのあった花が浮き上がってきます。HDMI端子でHDモニターに繋ぐと、画面の4分の1を拡大してフルHDで見ることができます。それでも鮮明なのです。これにはすっかりはまってしまいました。

添付の説明書を見ると4K動画を編集できる「Sony Movie Platinum 13.0 TRIAL」を無償で提供すると書いています。早速ダウンロードし和歌山城の桜を撮影して、チャレンジしてみました。しかし、このソフトは英語版で、今まで使った EDIUS やプレミアなどと全く使い勝手が違います。手探りで何とかタイトルとテロップ、それに BGM を使った1分半のビデオ作品「春らんまん」ができました。

<http://www.youtube.com/watch?v=OgrL9r0VV4w&list=UUete42Pu0kdnIMeXGAxUZiA> 「春らんまん」 1分30秒

YouTube に4K動画を掲載できることがわかりました。アップロードに挑戦をすると、すんなり掲載ができたのです。再生してみると、設定が「2160p」に変更ができます。「やった！記念すべき第1号の作品だ。」と小躍りしました。調べてみると、YouTubeには4K動画はかなり掲載されています。しかし、ほとんどプロの作品で、タイトルやBGMがついたアマチュアの作品は見つかりません。

これに気をよくしてやはりお城で撮影したボタンを今度は2分半にまとめて掲載をしました。こうして私の4K撮影は2本の作品となって世に送り出したのです。

<http://www.youtube.com/watch?v=CuijX9ZrqCA&list=UUete42Pu0kdnIMeXGAxUZiA> 「ぼたん」 2分

何でこんな大げさなこと言うかといえば、Sony Movie Platinum 13.0 TRIAL は名のごとく限定版で、僅か1ヶ月で使えなくなってしまいました。そんな訳で当分は4K編集ができない状況になりました。

いずれ EDIUS Neo も4Kをサポートすることでしょう。それを待つことにします。

いいところばかり並べましたが、FDR-AX100 にはデメリットもあります。ソニーの売りである「空間光学手ブレ補正」ではなく、単なる光学式手振れ補正です。それにシャープさ故にピント合わせは細心の注意が必要です。しかし、新しくビデオカメラの購入を考えている人には、このカメラは有力な候補になることでしょう。(私の作品は YouTube で「ja3cf」の検索で見ることができます。)



ソニー FDR-AX100



高野山撮影会 シャクナゲ



高野山撮影会 金剛三昧院

..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年6月8日(第2日曜日)13時00分から16時30分

会 場 : 中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行 事 : ビデオ作品上映と情報交換等

当 番 : (メイン) 武田・(サブ) 宮原

# 会 報

第602号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町2-31 南川 陽一内 Tel.073-423-0390

yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

近畿地方も梅雨入りしましたが、今日は、梅雨の中休みで真夏日と暑い中、例会にお集まり頂き有難うございます。

今年もすでに半年を経過しようとしています。これからの後半は、イベントが目白押しとなっています。事業達成のため、会員皆様に作業分担をお願いすることがありますので絶大なご支援、ご協力をお願いします。

## <6月例会>

[日時・場所] 平成26年 6月 8日(日)13:00~17:00 於中央コミュニティセンター 2階活動室  
(2)

[出席] 有田、岩崎、小野、川嶋、北野、桑野、武田、田中、中口、中嶋、菱田、的場、南川、  
宮原、山口 <21名中15名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 大森、川口、前田

[ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 石楠花の咲くころ HD 11分00秒 中口 清治

5月6日、春の撮影会の映像です。高野山には、いろいろなところに石楠花が植えられているのがわかりました。その一部を紹介します。

2. 旧中筋家住宅 HD 5分20秒 中嶋 孝

和歌山市禰宜にある国指定の重要文化財旧中筋家住宅で、普段は公開していない望山楼が、期間を限って特別に公開されましたので見学に行きました。

3. 和歌山城春から秋へ HD 4分58秒 宮原 昌弘

この美しい花とみどりの和歌山城を守り、育ててほしいと願って作りました。

4. ハワイアンカーニバル HD 10分12秒 田中 正男

夢の島、マリナーシティーでハワイアン・フラカーニバルがありました。当日は風が強く同録ノイズが大きくて聞きづらいですが、あえて一部採用しました。

5. シャクナゲを求めて HD 6分00秒 岩崎 好宏

撮影会で高野山へ行ったときの撮影をまとめてみました。急いで作った作品なので、まだ手直しが必要です。

6. 高野山 HD 7分00秒 武田 雅治  
 私はお寺が好きだ。嬉しい時、悲しい時、腹立たしい時、むかむかするときでも、観音さんはいつでも暖かく、優しく迎えて願いを聞いてくれます。観音さんにお礼を込めて、そんな気持ちでこの作品を作っていますが、御案内の通り未完成なものを皆さんにお見せしたことを反省しています。
7. 石楠花を求めて HD 3分42秒 有田 俊雄  
 今回の撮影会は、撮影の視点を変え、日頃ビデオに写らない撮影者を主として撮影しました。
8. 万葉の小路を楽しむ HD 10分50秒 山口 隆  
 5月30日(金)に久しぶりに撮影に行きました。私は足のシビレが強く、あまり歩くことができませんので、歩行の少ない片男波公園にしました。ここは平坦な道で、楽しく歩いて撮影できました。
9. 第3回 高野山海南マラニック HD 11分 桑野 強  
 高野山の大門から海南市へ下る52kmを走るマラニック(マラソン+ピクニック)でカメラを持ち走りながら撮影(途中10km 間はランナーと併走映像及び、高い位置からの撮影で車中から)元気な熟女に負けないように走りましたが後半バテました。  
 余談ですが、参加者は30代～50代、僕だけ70代！  
 撮影機材:ビデオカメラ : SONY HDR-PJ760V  
 デジカメ : CANON S120 (ランナーと一緒に走る時に使用)
10. ひまごの初節句 HD 4分45秒 小野 誠之  
 3月4日にひ孫が生まれました。身内のものでお祝いしようと言う事で、5月5日端午の節句の日に、初節句をお祝いしたときの映像です。

## [ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

### 1. やさしいビデオ教室(きのくに ふれあい学習研究会)実施報告

第1回 実施日 5月25日(日)13:00～15:30

参加人員 10名(ニュース和歌山の紙面を見た人が多くありました。)スタッフ 10名

講座内容 卓上講習および撮影実習

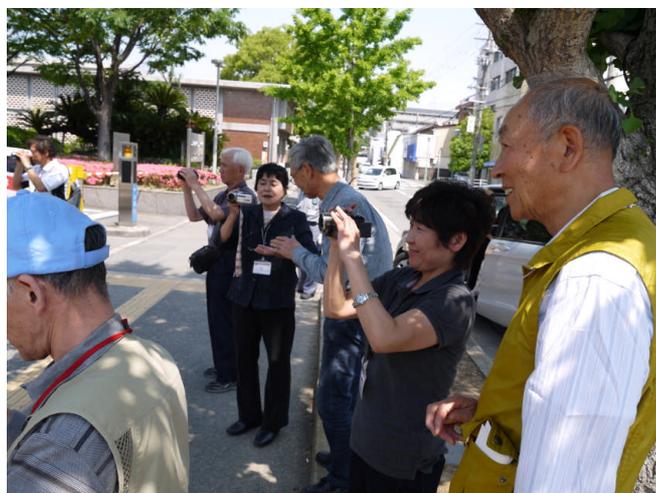
アンケート結果 次回も参加したいとの希望が多くありました。

第2回(8月24日(日))の実施に向けて、一回目資料の映像化と「テーマ」の設定を考えます。

試案として数カットの絵コンテを用意して、「映像の組み立て方」をグループ討議する案などが出て今後詰めていくことにしました。



やさしいビデオ教室



野外撮影実習

## 2. 創立60周年記念映像祭企画の推進

今年の映像祭は、創立60周年記念映像祭と銘打って和歌山の映像作品を上映することが決まっていますので、準備行程を下記のように進めて行くこととなりました。

(6月中に各自の上映希望作品のタイトルと時間を、事業担当の武田さんに連絡してください。)

6月	上映作品の選定 *7月6日の例会で最終決定 平成23年から25年の映像祭で上映した作品を除き、 古い和歌山の映像を歓迎します。
7月	プログラム作成
8月	アナウンス原稿作成
9月	会場確認・リハーサル・案内状作成等
11月	遊 ingイベント(11月9日[日]or15日[土]、16日[日])の中での開催

### 5月15日現在上映予定作品

有田	串本芝焼き	中口	和歌の浦花めぐり
岩崎	鳥	中嶋	
小野	あれから〇〇年	菱田	
大森		的場	
川嶋	千田祭1300年祭	南川	青葉祭り
桑野		宮原	国鉄汽車ポッポ
武田	百閒山溪谷	山口	
田中		前田	

## 3. 平成26年度NHK杯コンクール「テーマ=ドキュメント」への応募状況

紀の川映像クラブ 1作品、 紀南ビデオサークル 1作品、 打田映像クラブ 0作品、  
和歌山映像クラブ 9作品の 計 11作品

\*コンクールへの応募作品数が少なすぎるように思います。

応募作品のある程度の数と質を確保するための策を県連役員会で検討をお願いします。

## 4. 長欠者の取り扱い

事務局より当該会員に本人の意向を確かめ、善処することになります。

なお、今後の会費等に関する管理は、会計の方でよろしくをお願いします。

## 5. OVCビデオフェスティバル

4月20日(日)大阪市立中央会館で大阪ビデオクラブの第19回OVCビデオフェスティバルが開催され、武田、川嶋、宮原の三名の方々が参加しました。

作品内容はいずれも感銘深いもので、大変参考になったそうです。

武田さんにフェスティバル鑑賞記を投稿願いました。第三部をご覧ください。

## 6. その他

- 6.1 北野顧問が出演される「アートキューブ第二回ジョイントライブ」(6/21)で武田・川嶋の両氏が撮影協力します。
- 6.2 小野・岩崎両氏が病氣療養中の前田さんをお見舞いしました。会報等メールの着信確認、映像祭への作品提供など意思疎通を図りました。お元気でした。

## [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

### 1. 第19回 OVCビデオフェスティバル鑑賞記

武田 雅治

4月20日(日)に大阪市立中央会館で開かれた、第19回OVCビデオフェスティバルに、川嶋、宮原さん達と三人で行って来ました。

先ず受付を済ませ会場内へ一歩足を踏み入れて驚きました。それは正面舞台上に映画館並みの大スク



パナソニック・プロジェクター TH-DW10000

リーンにOVCロゴマークがプロジェクターで映し出されています。場内の照明はかなり明るかったのですが、鮮やかに映しだされていました。

1万ルーメンの威力でしょうか。

程なく作品の上映となりました。全部で15本の作品がありましたが、その内土地の会式や祭事の作品が4本ありました。

其れを観て感じたことは、作者のスタミナ・バイタリティのすごさに圧倒されました。それは他の作品にも共通していえることですが、活動範囲がものすごく広いなーと痛感しました。

お見受けしたところ我々クラブの者と年齢差は大差がないように思いますが、何人かで共同で撮影したのではないかと思うくらい、ありとあらゆるアングルから、人物のアップとか表情等、見事に撮影していて頭の下がる思いで見えていました。

私が見た作品の中で一番心を打たれた作品は、5番目西村さんの「国を失った人達」という作品でした。

「漢民族が、チベットには鉱物、石油など地下資源が豊富なのでチベットは我が領土なり」と攻め入りチベット民族を追い出しにかかって(ここまでは私の作文)それ故かなりの数のチベット民族は厳寒のヒマラヤ山脈を決死の思いで越えてネパールに難民として逃げ込みました。ネパールも決して裕福なお国柄ではないのですが、温かく迎え入れ現在に至っているわけですが、西村さんは、いつかは我が故郷へ帰れる日が来るであろうと、一縷の望みを持ちながら毎日を送っているチベット人にインタビューを交えながら難民の生活の様など、人間模様を見事に描いていました。

この作品を観て私は大いに心を打たれ作者の意気込みが感じられ感動しました。

それからトロントからバンクーバーまでの北米大陸横断鉄道、VIA鉄道の紀行の作品も印象に残りました。ナレーションは一切なく、現地音のみで要所に最小限のクレジットが入っているだけで、展望車・車窓・停車駅からアメリカ大陸の雄大な風景、スケールの大きさや小さいことにこだわらない国民的な



#19 OVCビデオフェスティバル

プログラム

- 1 HD 荒神さん (13分) ..... 吉岡 貞夫
- 2 HD 萌絵と甲子園会館へ (8分) ..... 板谷 潤
- 3 HD バガン遺跡 (11分) ..... 森田 光春
- 4 SD 春告げる炎の舞 (10分) ..... 井脇 務
- 5 HD 国を失った人達 (10分) ..... 西村 光雄
- 6 HD ダックツアー (16分) ..... 柴辻 英一
- 7 HD 壬生の花田植 (11分) ..... 紙本 勝

<< 休憩 >>

- 8 HD VIA鉄道 (13分) ..... 関 剛
- 9 HD 朝日山部屋の鬼嵐 (8分) ..... 植村 朝一
- 10 HD 魚吹八幡神社提灯祭 (13分) ..... 河合 源七郎
- 11 HD ながさき漫ろ (16分) ..... 坪井 仁志
- 12 HD 祈りのとき (7分) ..... 堀 皓二
- 13 SD ベランダ (8分) ..... 合原 一夫
- 14 HD 午前九時のころ (4分) ..... 黒田 敏彦
- 15 HD 通天閣とその界限 (12分) ..... 有村 博

主催: OVC大阪ビデオクラブ

ど、もの見事に撮影されており、あたかも自分がVIA鉄道で旅行しているような気分になりました。

合原さんの42年前のフィルムをテレシネでデジタル化した、いわゆるホームビデオの作品も印象に残りました。合原さんがマンションから引っ越すときに、奥さんのベランダにまつわる回顧録が、おそらく常から撮影していたものだと思いますが、走馬灯のように映し出されて、実にほのぼのとした合原さんの家庭の雰囲気が見ているものに伝わってきて、ほっとできる作品でした。

その他どの作品をとっても素晴らしい、の一語に尽きる想いで、放映時間も13分とか16分の作品がありました。観ていて長いなーと思った作品は一本もありませんでした。又放送局のTV番組で放映されても遜色のない作品ばかりだと思いました。これぞ映像作品だ、と思い知らされました。過去に映像祭をいくつも見て来ましたが、これほど秀作の揃った映像祭は経験したことがありません。

「井の中の蛙 大海を知らず」とは私のことと痛感し、私は今迄のような作品を作っているのが恥ずかしくなり、大いに反省させられました。帰り際トイレの中で、どこかのクラブの方でしょうか「素晴らしい、レベルが違いすぎる」と話しあっていましたが、私も御尤もと感じ入りました。

よくぞ今日鑑賞に来たものだと川嶋、宮原さん共々充実感一杯で帰路に着きました。

### ※お断り

以上は私見でして、「いやいや私は映像作りなんて趣味の域でやっているの、今のままで良いのだ」というお考えの方があって良いのではと思います。事実私も今まではそのような考えで映像制作をしていました。が今回の映像祭を観て一寸考えが変わりました。

皆さんには決して押しつけがましく言見を述べたわけではございませんので、どうか誤解のないようにして頂きたいと思います。

### ● 会場で感じたこと

- 一、受付のテーブルが通路を挟んで二列に並べられ受付用紙が各一枚になっているので、一度にお客さんが来ても団子にならずスムーズに行っていました。
- 一、会場内では舞台前中央にプロジェクターのみが据えられ、ほかの機材は左の壁際に並んでいました。
- 一、司会の方は檀上右側でずっとおりました。

私の拙い鑑賞記をお読み頂き有難う御座います。

皆さんの映像作品作りに対するお考え・御意見等もお聞きしたいと思います。

御返事御待ちしています。(武田)

## 2. プロジェクター・トラブルと対策

南川 陽一

中央コミュニティーセンターのハイビジョン・プロジェクター(三菱LVP-HC5000)が故障で先月5月度の例会から使用できない状態です。

応急処置としてデータ・プロジェクター(パナソニックTH-L702SDJ)を使用しましたが、解像度、画質ともに悪く、例会作品を映写するには不適切な機材です。

LVP-5000の修理は予算の関係上来年2月頃までは手配できず、その後の予定も明確ではありません。

対策として河西コミュニティーセンターにあるハイビジョン・プロジェクター(三菱LVP-HC6000)を中央コミュニティーセンターに貸出しして、移動して頂きます。

両コミュニティーセンター間で調整して下さったお蔭で、われわれの次回7月6日の例会は予定通り中央コミュニティーセンターで開催できることとなりました。

各コミュニティーセンターのプロジェクター型式

コミュニティーセンター	プロジェクター型式
北	リコー:PJX-3240N パナソニック:PT-DW8300 (ブルーレイ・プレーヤー パナ:DMR-BR580)
河南	エプソン:ELP-30
東部	サンヨー:LP-SW30
河北	エプソン:EB-S02
河西	エプソン:ELP-5500 エプソン:ELP-30 三菱:LVP-HC6000

参考:パナソニック:PT-DW8300

光出力:9600lm  
解像度:1366x768ドット  
表示方式:DLP方式3枚  
コントラスト:10000:1  
質量:24kg



パナソニック:PT-DW8300

### ..... 次回の例会 .....

日時:平成26年7月6日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会場:中央コミュニティーセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行事:ビデオ作品上映と情報交換等

当番:(メイン)宮原・(サブ)岩崎

# 会 報

第603号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町 2-31 南川 陽一内 Tel. 073-423-0390

yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

8号台風は日本縦断コースを辿り、その被害を大変心配していましたが幸い和歌山市はうその様なお天気に恵まれ、おお助かりで安堵しました。

しかし、一方我々クラブ員に悲報があり、心を痛めています。 合掌

## <7月例会>

[日時・場所] 平成26年 7月 6日(日)14:00~16:15 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 有田、岩崎、大森、小野、川嶋、田中、中嶋、中谷、菱田、的場、南川、宮原、山口

<20名中13名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 桑野、武田、中口

---

[ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 高野山の石楠花 HD 6分03秒 宮原 昌弘

H26年5月6日高野山三昧院のシャクナゲを撮影に行きましたが、まだ早くつぼみでした。  
周辺のシャクナゲは満開でしたのでそれを撮影しました。

2. 万葉の小路を訪ねて HD 9分50秒 山口 隆

片男波公園、万葉館は20年前7月に万葉集の資料展示場としてオープンしました。  
この半島面積は6.3ヘクタールの半島状地形でこの干潟は近畿最大の面積であり万葉の写真  
も多く展示され素晴らしい憩いの場所として四季を通じてよく利用されています。

3. 市電(南海電気鉄道和歌山軌道線) SD 2分48秒 有田 俊雄

昭和46年3月31日に廃止された市電をその3月に8ミリフィルムで撮影したものです。

4. 本州最南端の火祭り HD 3分36秒 有田 俊雄

春に向けて芝の害虫を駆除し、新芽の成長を促すのが目的で、串本町観光協会が毎年1月の  
最後の土曜日(今回は天候不順のため1週間延期していました)に開催している潮岬望楼の芝焼き  
の様子を撮影しています。

5. 大賀ハス HD 4分20秒 岩崎 好宏

紀の川市の平池で大賀蓮をHDR-AX100で4K撮影をしました。そのままではディスクに入れ  
られないのでHDに変換しています。なお、YouTubeに4K動画で掲載しています。

6. 紀州浪漫(改訂版) HD 11分45秒 田中 正男

皆さんの編集アドバイスを参考に修正しました。

修正ポイント

- a. ナレーションの挿入
- b. タイトル文字の装飾
- c. シーンの一部削除
- d. 日の出水平線傾き修正

7. 竹田城跡 HD 6分35秒 大森 茂男

天空の城跡で大勢来ています。城の無いのが残念です。石垣も崩れているので修理するとの事です。帰路に一宮神社、白毫寺のふじ等を見てきました。

[ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

1. 訃報

前田幸男さんは、施設(サービス付き、高齢者向け、賃貸ワンルームマンション「ファミリーハイツわか町」)でお過ごしでした。7月のはじめ体調不良を訴えられ、医師による加療を受けられていましたが、薬石効なく7月4日逝去されました。

誠に残念でございます。

前田さんは、ご高齢(満93歳)で、例会へのご出席は控えられていましたが、我々のクラブ活動に大変ご理解を頂き、勉強会場や機材のご支援を頂くなど一方ならずお世話になりました。

有志で、昨日の通夜式、本日の告別式に参列し、ご冥福をお祈りしてきました。

また、遺作「春らんまん」を上映して、前田さんを偲びました。

前田さんの告別式参列で、時間をずらして例会を行いました。また、例会に先立ち黙祷をもって、一同、前田さんのご冥福をお祈りました。

尚、ご存命中にお預かりしていました「和歌山映像クラブ60周年記念特別寄稿」を今回の会報に添付させていただきます。事務局としては最終原稿の打合せを前田さんと出来なかったことが大変残念に思います。

2. プロジェクター・トラブル対応

既報の通り中央コミュニティセンターのプロジェクターが故障で、私たちの例会運営上大変困っていましたが、今回、河西コミュニティーセンターのプロジェクター(三菱LVP-HC6000)を貸出移動していただき、無事例会を中央コミュニティーセンターで開催することが出来ました。

これは中央コミュニティーセンターの事務局の方々のご努力のお陰で、大変ありがたく、心からお礼を申し上げます。

尚、次回からも同様の対応をして下さるとの事です。



三菱LVP-HC6000

### 3. 創立60周年記念映像祭上映作品のまとめ

すでに会員の皆様にご理解して頂いている通り、本年は、当クラブ創立60周年という節目に当るので、映像祭テーマを和歌山にまつわる新旧の映像をもって、プログラム編成にご協力を頂いております。その上映作品の候補として、下記の通り提出して頂きました。

#### 平成26年度 映像祭 上映作品候補リスト

No.	制作者名	タイトル	撮影年月	時間	メディア	備考
1	有田 俊雄	串本芝焼き	H26.2	3:40	HD	
2	岩崎 好宏	カワセミ	H20	5:20	HD	H20知事賞
3	大森 茂男	(本年不参加)				
4	小野 誠之	大飯盛物祭	H17.4	15:00	SD	テレシネ H20NHK銀賞
5	川口 彰一	(未定)				
6	川嶋 健弘	千田祭1300年祭	H24	10:00	HD	
7	桑野 強	第3回高野山海南マラニック	H26	11:50	HD	
8	武田 雅治	熊野古道・中辺路 熊野本宮大社	H16.10	9:00	SD	H17NHK金賞
9	田中 正男	(本年不参加)				
10	中口 清治	和歌の浦花めぐり	H26	8:20	HD	
11	中嶋 孝	梅雨の那智山	H22.6	7:40	HD	H22NHK銅賞
12	中谷 保好	(本年不参加)				
13	菱田 公造	おもいで野上電車・小雨と夜と黄昏	H6.3	15:00	SD	
14	前田 幸男	木ノ本獅子舞(遺作)	H8.10	10:00	SD	
15	的場 信治	和歌浦名所散策	H21	4:30	HD	
16	南川 陽一	青葉祭	H14.5	10:40	SD	H19NHK金賞
17	宮原 昌弘	汽車ポッポ我が街を行く	S47	7:47	SD	テレシネ
18	山口 隆	万葉の小路を訪ねて	H26. 5	9:50	HD	

今後の作業として、それぞれの映像内容の確認と修正で、60周年記念映像祭プログラムとして、相応しいものに仕上げたいと思っています。

なお、作品確認は、7月17日の写楽で行いたいのので、作品およびコメントを持参して下さい。

#### [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

なし

#### ..... 次回の例会 .....

日時：平成26年8月10日(第2日曜日)13時00分から16時30分

会場：中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行事：ビデオ作品上映と情報交換等

当番：(メイン) 岩崎・(サブ) 山口

## 和歌山映像クラブ創立60周年記念 特別寄稿

### 『人生、二度の手習い！』 — 映像クラブ』& 『パソコン導入』—

前田 幸男

#### 第一章 8mmフィルムカメラとの出会い

少年時代に抱いた「文学」へのほのかな憧れは、私に与えられた才能では到底叶えられるもので無いことを覚った。そして60才になったある日、吾が人生の後半を決定付ける別の事象が突如舞い込んだ。それは、既に本稿でも述べた通りで、つまり私は、「ペン」を持つべき筆の手に、「ビデオカメラを持つ運命」を迎えたのである。

夜の「居酒屋」で時を過ごすより外に能の無かった私に、突如訪れた一筋の光明…、そうと決まったら、もう『60才の手習い』にまっしぐらであった。

「ビデオ作品」作りの「醍醐味」に開眼して、その日の日誌に私は次のように記している。

もし昭和50年代に、「ビデオカメラ」と出会うチャンスが与えられていなかったら、私の「余生」は、どうなっていたであろう…

「怠惰」で、「無為」で、ことによれば「痴呆」の世界へ迷い込んでいたかも知れない。

それを思うだけで、「ゾッ〜！」と身震いするくらいである。

ある日私は、もう一人「小坂和也」君という役員と二人で、業界の、「近畿地区・協会長会議」と云うのに出席するため京都へ行った。一泊して、翌日の帰る途中のことである、電車が和歌山駅にそろそろ近付いた頃、彼が突然言い出したのだが、「駅のカメラ店に、8ミリカメラという、動く映像を撮れるカメラがあって、欲しいんだけど、とても値が高くて手が出ないんだ…」と。

その時は何の気無しに聞き流していたのであるが、後になってこの一言が私の頭の中で復活して来た。

「映像」はおろか、スチールカメラについてさえ殆んど知識も経験も、また関心も持っていなかった私が、俄然行動を起こしたのである。

その頃行きつけだった「長崎屋」の1階の、「オオキタ」というカメラ店に立ち寄ったのである。女性店長が取り出して熱心に薦める、その『エルモ・スーパー8-6000AF』を、どうした訳か、私は立ちどころに購入してしまったのであった。値段はもう忘れてしまった

が、「カメラ」だけでは済まない。消耗品の「フィルム」も要れば、「バッテリー」も要る。「編集機」も、「映写機」も要る。おまけに「ガンベルト式バッテリー」という代物まであって、長期旅行には是非必要と店長の言葉に乗せられ、その4万円余りするのを、気前よく買ってしまったのであった。

時、恰も昭和55年(1980)秋、二度目の「アメリカ東海岸研修旅行」が、「図書文化社」で企画されていて、勿論私は、あらゆる機材を引っ提げ、これに参加を決めていた。



エルモ・スーパー8-6000AF



コダック 8mmフィルム

私のトランクの中には、他の人と違って、その大半が「コダックフィルム」と、例の「ガンベルト式バッテリー」で占められていた。何分「8ミリフィルム」は、あの高い嵩で、1本たった3分強しか写せない代物である。13日間の海外旅行を、満足のゆくように撮って帰ろうとすれば、いくら少なく見積もっても、1日に1時間分は撮っておきたい。そうなると1日20本、13日では、250本以上要る勘定になる。それではトランク一個では足りなくなる。そうも行かないので、程々のところにして、兎に角そのトランク一個を提げて出発したのであった。

## 第二章 和歌山映像クラブ入会

当時地元「和歌山映像クラブ」と云うのがあることを聞かされ、私は直ちに入会させてもらった。クラブの「会報」を繰ってみると、私の名前が「例会出席者」として登場するのは昭和56年3月号からである。登録会員数は35名余り、例会の出席者となると20名前後、そして例会での作品出品点数は10点前後とあった。例会は第3土曜の夜開かれたが、それぞれ好みのテーマで取組んだ、15分程度の「フィルム作品」が上映される。時々褒める声や、辛口の批評が出る。聞いているだけでも大いに参考になった。当時私はまだ「社長職」の真っ最中であつたから、例会も毎回出席とは行かないし、私が始めて作品を作り上げ、「オドオド」しながら出品したのは、実に3年後の昭和59年7月号と、「会報」に記録されている。その第一作は『絵になる街・横浜』というタイトルで、13分20秒のフィルム作品であつた。

## 第三章 旅と映像作品

私達の業界で構成している「図書教材協会」の、「県協会長」を務めていた頃で、東京へ出張した序々に、兼ねてから意中であつた「横浜」に、撮影目的で立ち寄つたものである。

これが、初っ端から意外にも、出品作品中の「第一席」に押され、その月の「月例賞」というのを頂き、併せてその年秋の「映像祭」に出品してもらうことになった。

「映像祭」と云うのは、会員のその一年間の代表作十数点を、大会場で上映し、一般市民の鑑賞に供する、クラブ最大の年中行事であつたが、このことが私に大きな自信を持たせると共に、後々まで私の記念すべき作品として残されることになった。

話は別だが、初めての「アメリカ旅行」から、その後25年の間に、私は合計16回に及ぶ「海外旅行」のチャンスに恵まれた。そしてその記録が私の「映像制作」の貴重な素材となつただけでなく、同時に私の「制作意欲」と「情熱」を掻き立ててくれる原動力となつた。

そもそも昭和50年代から、60年代というと、全国・各界に「海外旅行ブーム」の起つた時代で、私の業界にもそうしたチャンスが幾度か巡って来て、私の「カメラ狂」を次々後押しすることになったのである。お陰で私は、「アメリカ西海岸12日間」、「同東海岸13日間」の外、「カナダ」、「ヨーロッパ・4カ国」、「オーストラリア」、「インド」、それに「中国」へは複数回、「マレーシヤ」、「シンガポール」、「インドネシア・バリ島」、更に「香港」、「台湾」、「韓国」などアジアの国々へと続いたのである。

自分でも、些か身分不相応かと思える位であつたが、これらがすべて私の映像作りの貴重な素材となり、上達の肥やしとなつた訳である。

「海外旅行」がいくらか間遠になっていた私に、今度は旅行会社「JTB」が応援する旅行クラブ『紀の国会』と云うのから誘いがかかった。早速昭和62年に、始めて『紀の国会』の一員として参加したのは、北海道・富良野の「ラベンダー園」であつた。ラベンダー園で興じる二人の女性会員に目がとまり、頼んでカメラに収まってもらつたところ、これが「和歌山放送局」の職員の方だと分かつて、その後親しい間柄になり、映像クラブの行事として、ビデオの「ナレーション講習会」を開いてもらつたりもした。

#### 第四章 和歌山文化協会での「中秋の名月に舞う」

旅行以外でも、私の制作活動を支援してくれるものが出現れて来た。

平成2年には、「和歌山文化協会」へ入会した。ここでも私は、「ビデオで貢献する会員」という立場を自ら作り出し、協会の年中行事たる「総会」や「新年会」、それに最大イベントである「先覚文化功労者顕彰式典」、そして「中秋の名月に舞う」の撮影を自ら買って出て、撮影、編集し、完成した作品は、協会事務局にも保存されていることを後日知った。

中でも「名月に舞う」は、第1回から、平成18年の第11回まで、欠かすことなく撮影した。

あの「県立美術館」脇の広場で、お城の森をバックに、流水で隔てられた向こう側に設営する、「大理石」の舞台でそれは演じられるのである。演じられる舞踊の数々の、ライトに照らし出されたその衣装や、熟練された踊り手の全身の動きは、観客を魅了し尽くすものであった。時々ビデオ仲間の関久氏や、中嶋孝氏に応援してもらったこともあったが、観客の迷惑にならない姿勢をとり、司会者のナレーションも一語も落とすまいと、2時間余に亘って撮り続けることは、正直云って、相当の重労働であった。

それに難しかったのは、演目毎に衣装の「色合い」が異なるし、ライトの「照度」が何度も変ることで、それに合わせてカメラの明るさを、思うように調整出来るまでには、相当の経験が必要で、随分苦勞はしたが、その分大いに勉強にもなった。

ある年の「名月に舞う」で、多くの演目の中から一曲、「夜遊楽」を選び出し、私は「ビデオクラブ」の例会で上映しようと考えた。「歌詞」の内容を知らない私は、早速出演者の「向山陽子さん」にお願いして、その「歌詞」を送って頂き、これを「字幕」にして画面へ入れ、大いに楽しんだ記憶がある。

#### 第五章 CFCサロンの撮影会

「ビデオ業界」の専門雑誌を発行する「玄光社」と云う会社があることは、ご存知の人も多いが、ここに傍系組織で『CFCサロン』という集まりがあった。全国から数十名の方が加盟しているようであったが、中には全国的に名の通った「アマチュア映像作家」のお歴々の方もいるようであった。

私も御蔭で加盟させて貰ったが、年一回、総会を兼ねた「撮影会」が、会場回り持ち、宿泊付きで開かれ、宿泊には一流ホテルもあったが、瀬戸内海に浮かぶ『笠岡諸島』の島の中の旅館もあったし、「北海道・美瑛」では、「ログハウス・ニドム」のようなのもあって、中々ユニークであった。

平成8年秋には、ついに我が「和歌山映像クラブ」も主催者を引き受け、十月の本番には、全国から60余名の会員の方々を迎え、2泊・3日の「総会」と、「撮影会」を敢行した。

初日は、まず「和歌山城内」で、『根来鉄砲隊』の実演を撮影し、銃の操作の細部に亘る説明も受けて、参会者から絶大な拍手を頂いた。午後はチャーターしておいた観光バス2台に分乗して「高野山」へ移動。ここで、思いもかけぬ「平成の大修理・落慶」を祝しての『薪能』が、多数の観光客を集めて奉納されている光景に遭遇、参加カメラマンは予想外の被写体に感激して、夢中でカメラを廻した。

その夜は「高野町・観光課」を通じて予約しておいた『光明院』で、精進料理に舌鼓を打ちながら、久しぶりの再会と健康を喜び合う会員の姿が、幾組も見受けられた。

翌朝、高野山の神秘的な夜明けを迎え、一行はまだ暗い午前5時には起床、撮影の準備も整えて「一の橋」付近に待機。許可を頂いてあった『朝の御膳』の儀式の行列を撮影。続いて滅多に許可されることのない「奥の院」まで、カメラを持ったまま入って貰って、またまた感激した。

その後、夜明けの梵鐘を聞きながら、墓石の立並ぶ参道一帯をカメラに収めて高野山を辞し、途中、山腹の「柿の里」に一時バスを停めて実りの風景を撮影、午後の『雑賀崎』に到着した。

ここでは港の「船溜まり」や、釣人、「雑賀崎」特有の坂の町等を撮影した後、「番所の鼻」の広場で、「山村組」の特別出演で、ご当地民謡の舞踊を鑑賞、そして日没と同時に『双子島荘』に入った。

山海の珍味を前に、駆け付けた「尾崎和歌山市長」から心のこもった歓迎の辞も受けた。

翌15日は、『木の本八幡宮』の例大祭の日当たる。一行は厳かな神事を撮影した後、例の勇壮な「木の本獅子舞」の実演を堪能するまで撮影、ようやく凡てのスケジュールの幕を閉じたのであった。

JR和歌山駅まで一行を送り届け、駅前で多くの人から感謝の言葉を受けた。後日行ったコンクールには多数の作品が寄せられ、審査の結果、何人かの方々に賞状や記念品を送り届けた。

## 第六章 吉方さんの花しょうぶ

平成9年4月の「例会」に出品した、私の『花しょうぶ-10ヶ月物語』は、長期に亘ってひとつの題材を追及する、今までやったことの無い新しい手法の作品であった。クラブの先輩である「吉方徳一氏」は、カメラ歴もずば抜けて長く、いくつもの名作を残しておられるが、他方「花しょうぶ作り」でもベテランで、東高松の邸宅のお庭には、100鉢もの「花しょうぶ」が栽培され、毎年6月になると、何組もの知人・友人を招いて、ご馳走つきで「鑑賞会」が催されている。

「これを一本の作品に仕上げない手はない…」と、私には一つの構想が湧いた。長い月日をかけ、手間暇のかかる花しょうぶの栽培…、この作業ぶりを一年を通して撮影し、物語風に仕立てたら、今までに無い作品が出来る…、私はそう思いついたのである。

6月後半、花の盛りが終わるとすぐ、吉方さんの頭の中には、早や「翌年の開花」が浮かんで来る。

最初は「苗作り」である。根元から10cmくらいのところで切り揃え、水洗いをすませると、肥料を混ぜた新しい土の鉢に、一株ずつ植え込むのである。終わると品種名を書いた「名札」を添えて、たっぷり水をやり、それを軒下に長々と列をなして並べる。

年が明け、まだまだ寒い日のこと、庭先の日当たりで、吉方さんの作業はもう始まっていた。一鉢毎に、竹べらで土に穴を掘り、その中へ「基肥」をやっている。全部終わるまでにどれほど日数がかかるのであろうと思う。

次に3月に訪ねてみたら、その日は「消毒」である。2種類くらいの「消毒薬」を水に溶かし、噴霧器で一鉢毎にかけていった。

翌4月に行った時は「追肥」であった。また2～3種類の肥料と、土とを混ぜ合わせたのを鉢に入れ足して、後はたっぷり水を与えてやる。

「水遣り」だけは毎朝欠かすことがないというから、われわれには真似はできない。たまに吉方さんが留守になるような時は、若奥さんが代わって水遣りをしておられたのを見かけた。

こんな風に手を尽くして世話をされたからこそ、6月にはあの見事な花が必ず開いてくれるのであろう。

この「ビデオ作品」のラストシーンは、様々な形、色の花のアップを撮りそろえ、「鑑賞会」に招かれた数名のご婦人たちが、鉢の間を縫ってさんざめく姿を入れて締め括った。

後年、吉方さんが92歳で亡くなられた時、ご遺族の意志で、この映像が葬儀場に流され、参列者は、在りし日の吉方さんを偲んだものであった。

## 第七章 80才の手習いパソコン

かくの如き『60才の手習い』を経て、ビデオ作りに終始した私の「後半生」は、次は「80才の手習い」へと向かって行く。

皆さんのカメラが「デジタルカメラ」に変わると共に、編集方式も『パソコン編集』へと、急テンポで変化して行ったのである。

遂に私も「パソコン・購入」を決意する段取りになったが、これに就いては、捨て置けない「裏話」がある。買いつけの電器店は、親の代からの付き合いだったが、新しいことは当時まだ40才前後の若い息子

さんの担当だった。

メカに関する基礎知識のない私は、パソコンの「機種」については彼の言いなりになるのだが、「機械が入っても家へは持込んでくれるな…」という「条件」をつけた。と云うのは、その電器店の一角に機械を備え付けて貰って、私がここへ通い、彼から取扱い方法の「手ほどき」を受けなければならないからである。多少「非常識」かも知れないが、私には、そうするより外に手立てはなかったのである。

そうやって、私のこの店へ通っての「80才の手習い」は、真面目に2か月余り続いた。そろそろ冬の気配が近付いて、店内では寒さが身にこたえる頃になって、ようやくマンションの吾が一室に運び込まれたのであった。

たまに、私の狭いマンションの「編集室」に、クラブの有志か何人か集まり、県立医大病院で「レントゲン技師」をしている、「奥野敏之君」と云う若手に中心になってもらい、楽しみながら「コンピューター編集」の腕を磨いて行ったものである。

## 第八章 映像クラブ会長と映像クラブ創立50周年行事

平成12年の『映像クラブ』の「総会」で、「関会長」が惜しまれて退任され、選考の末、私が「第6代会長」に就任することになった。12年間、二代の会長のもとで務めた「副会長」の功績はどうだったかは知らないが、逆らう理由も見つからないので、お引き受けした。

思えば、「県図書教材協会」でも「協会長」に推されて8年間務めたが、今回またも会長に選ばれる運命というか、光栄というか、私の人生のひとつの巡り合わせのような気がした。自分の起こした小さな会社で、30余年間「社長」と呼ばれ、引退後も「会長」と呼ばれ、慣れてはいたものの、別の世界でまで「長付け」で呼ばれるとは、あまり予想していなかった。

【創立50周年記念式典】 ……平成16年7月10日……

この記念すべき年に「会長職」にあった幸運は大いに感謝すべきことだと思った。

当日の大様を是非記録しておきたい。

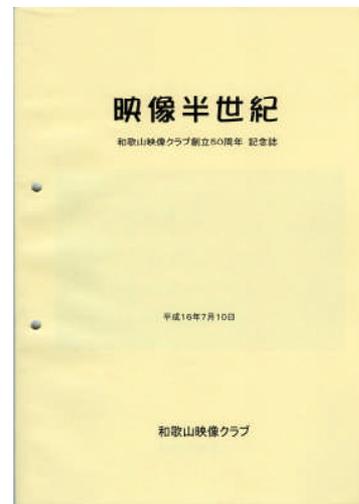
当日一式典・祝賀会次第

※会 場＝「華月殿」

- 1、式 辞＝会 長
- 2、祝 辞＝小谷繁次(文協代表)、丹生善清(連盟代表)、藤戸(クラブ OB 代表)
- 3、祝 電＝横浜・新潟・大阪・岡山・及び県内クラブ、OB・友人・業者外(計 14 通)
- 4、祝 舞＝長唄「末広狩」…藤間勘操菊・坂東美明 (友情出演) <以上・敬称略>
- 5、記念講演＝『これをやったらコンテストに落ちる』… 半田稔氏
- 6、祝 賀 会 乾杯一小川武県会議長様 祝辞…生馬敏行様

※ 記念誌『映像半世紀』発行(無料配布)

記念誌『映像半世紀』は、編集委員長の「南川陽一氏」、及び「中嶋孝氏」の手によって作り上げられた。A4版、70ページ、写真もふんだんに入れて見事に出来上がり、記念式典に出席された方々全員に配られた。『創立50周年を語る』を写真入で載せてある。これは、故・藤戸輝一、故・吉方徳一、故・高塚修氏と、前田幸男による座談を、南川氏、中嶋氏が撮影・録音したものの記録である。中でもクラブの最盛期には、会員数80名、例会出席者が30名くらいと語られているのは驚きである。当時の撮影会や、マスコミとの関係も参考とすべきものが多々あるように思う。続いて、昭和29年から始まる「50年の歩み」が、詳しくギッシリ記載されている外、「年度賞コンクール」における「高野武司」先生の講評が全部載って



いる。その他に受賞の記録や、当初から在籍した会員の氏名・住所を、故人も含め195名、五十音順に載せてある。

この「クラブ創立50周年記念式典」の行事の後、私は直ちに『会長辞任届』を「小野誠之」副会長宛て郵送した。昨年末の検診で、「慢性気管支炎」の疑いありと云われていたため、これで第一線の活躍から身を引こうと決めた訳で、時に私は85才終了直前の夏であった。



前田 幸男氏 H26. 6. 7 「ファミリーハイツわか町」にて映像祭作品打合せ

# 会 報

第604号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町2-31 南川 陽一内 Tel. 073-423-0390  
yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

足元の悪い中、例会にご出席くださりまして有難うございます。台風11号の直撃に見舞われるかと心配していましたが、中心がそれて、会員の皆様方にも大きな被害がなく幸いでした。時間をずらしての例会となりましたが、これから始めたいと思います。

## <8月例会>

[日時・場所] 平成26年 8月10日(日)14:00~16:45 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 有田、岩崎、小野、川嶋、武田、南川、宮原 <20名中7名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 桑野、中口、中嶋、菱田、的場

[第一部] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. ちょっとだけHD 2分宮原 昌弘

中嶋家(和歌山市中島)のあじさいを撮影撮影時に出逢った女性を、ちょっとだけ写しました。

2. スイレンHD 3分10秒岩崎 好宏

森林公園のスイレンを撮影しました。最近は手入れをしていなくて密集していますが、花は満開でした。4kで撮影して編集でHDに変換をしました。

3. 花園あじさい園 1分50秒 岩崎 好宏

高野龍神スカイラインの花園あじさい園を撮影しました。高地のため7月下旬でもまだ満開でした。4K→HD変換です。

4. 千田祭1300年祭HD10分川嶋 健弘

有田市の無形民俗文化財に指定されている千田祭りは、荒々しく行われる鯛投げ神事から「千田の喧嘩祭」とも言われます。これは1300年祭の映像です。

5. 畑の春HD1分35秒有田 俊雄

春の畑に咲いている野菜の様子です。

[第二部] << 報告・連絡 >>

1. 平成26年度(創立60周年記念)映像祭プログラムの確認

提出のあった今年の映像祭上映作品で、南川事務局長担当で編成されたプログラムについて、作品ごとのタイトル、コメント等について検討を行い、必要に応じ修正を行いました。

なお、差し替え作品については、プログラムを再編したいと思います。

## 2. 映像祭企画の今後の予定(概要)

8/20	映像祭プログラム原稿仕上り	9/15	関係官庁、メディアへのプログラム届
8/21	会員別映像祭案内先リスト仕上げ	9/30	会場での上映案内アナ用原稿仕上げ
8/22	映像祭プログラムプリント仕上げ	10/01	アート・ホール会場打合せ
9/07	会員用プログラム配布	10/03	NHKへ映像祭PR用映像届
9/07	案内はがき原稿仕上げ	10/16	上映用の全機材の点検
9/10	案内はがきプリント仕上げ	10/20	会場受付・案内諸作業及び用品の点検
9/11	案内はがきにサインの上、発送	11/01	映像祭本番 11:45集合
9/11	通しリハーサル (14:45～写楽)		

以上の映像祭に関する作業を遂行するため、会員のご協力をお願いします。

## 3. 第2回やさしいビデオ教室開催

### 第2回やさしいビデオ教室日程

開催日 平成26年8月24日(日) 13:00～

会場 県立図書館 2階 文化情報センター ふれあいルーム

テーマ 上手なビデオ撮影と映像のまとめ方

講師 小野会長

第2回目のやさしいビデオ教室の開催に向けて準備を進めていますが、後半の「映像のまとめ」について、桑野さんの技術指導プログラムが遅れているので、盆明けに詰めを行う予定です。

なお、クラブ会員の方は、当日、補佐業務と雰囲気盛り上げるため、会場にご参集下さるようお願いいたします。

## 4. 平成26年度 NHK杯映像コンクール審査結果発表

県映像連盟「会報第87号」をもって、平成26年度 NHK杯映像コンクールの審査結果発表がありました。

### 和歌山映像クラブの入賞者

金賞	和歌山城の秋	南川 陽一
銅賞	焼ぼっ杭に火がついた	菱田 公造
佳作	長谷寺	武田 雅治
佳作	ひまごの初節句	小野 誠之

## 5. 平成26年度 第44回 県映像コンクールへの応募のお願い

本年度の県映像コンクールは、下記の要領で作品の募集が行われています。  
多数の応募をお願いします。

応募締切 平成26年9月30日(火)

テーマ 自由

なお、応募作品は、9月25日(木) 写楽でも応募を受付けます。

## [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

なし

### ..... 次回の例会 .....

日時 : 平成26年9月7日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会場 : 中央コミュニティセンター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行事 : ビデオ作品上映と情報交換等

当番 : (メイン) 山口・(サブ) 中口

# 会 報

第605号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町2-31 南川 陽一内 Tel.073-423-0390  
yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

## <9月例会>

- [日時・場所] 平成26年 9月7日(日)13:00～15:30 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)  
[出席] 有田、岩崎、大森、武田、中嶋、菱田、的場、南川、宮原、山口 <20名中10名出席>  
[作品出席] なし  
[届出欠席] 小野、川嶋、桑野、中口、中谷

### [ 第一部 ] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 古城 HD 3分40秒 宮原 昌弘  
和歌山城のシーンに「古城」の曲をカラオケに仕上げました。
2. 牛町公園プールにて HD 5分10秒 大森 茂男  
8月19～21日に撮影しました。大変暑かったですが、子供の遊びを見ていると暑いのも忘れての3日間でした。
3. 東大寺と土堀の小径 SD 10分 菱田 公造  
今年創部60周年とのことですが、20年前の40周年記念撮影会では古都・奈良で一泊二日の記念撮影会を開催しました。4時間くらいの撮影テープで5作品制作しましたが、その内の一作品です。  
当時の会員も小野さんと私だけになってしまいました。
4. 奥穂高-1 HD 12分 南川 陽一  
今年の夏山は北アルプスの奥穂高に登りました。天候は良くありませんでしたが、奥穂の厳しさと山のすばらしさを味わうことが出来ました。これは1～2日目の映像です。
5. 奥穂高-2 HD 13分 南川 陽一  
夏山、奥穂高の3～4日目の映像です。パート1と同じく、三脚なしで撮影していますので編集時にブレ補正のソフト、メリカリを多用しています。
6. イタリア客船「コスタ・ビクトリア」 HD 2分 5秒 有田 俊雄  
外国客船が和歌山で初めて和歌山下津港に寄港したときの様子を撮影しました。
7. ネアンデルタールの歌 HD 4分10秒 岩崎 好宏  
友人が作詞作曲した歌に感銘を受けてYouTubeで配信をしようということになりました。そこで出来上がった作品を、例会で初披露しますのでアドバイスをお願いします。  
ちなみにこの作品はEDIUS Neo3のクロマキー機能で県内の風景を合成しています。

## 8. 2014 Second Joint Live

HD

7分

武田 雅治

和歌浦アートキューブで北野さんのバンド仲間5組が、去年に続いて2回目のジョイントコンサートを開催しました。当日会場は熱気に包まれ、盛り上がりました。

雰囲気分かって頂けたらと思います、そのさわりの部分を紹介します。

### [ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

#### 1. 27年1月度例会

日時:平成27年1月11日(日)13:00から

場所:従来どおり中央コミュニティーセンターとするか、フォルテワジマとするかは今後検討します。中央コミュニティーセンターの場合は、活動4、5号室を予約済みです。

#### 2. 第二回やさしいビデオ教室実施報告

8月24日(日)13:00~15:00県立図書館二階で、第二回「やさしいビデオ教室」が開催されました。

テーマは第一回目の復習と、パソコンを使わずカメラで不要映像を削除する方法の解説でした。

講師は会長の小野さんと桑野さん他和歌山映像クラブの皆さんでした。

ご苦労様でした。

参加者:新人3名、リピーター6名、クラブ員10名(北野、有田、岩崎、大森、小野、川嶋、桑野、武田、南川、宮原)



### 3. 平成26年度 第44回 県映像コンクールの応募状況

締切:9月30日 テーマ:自由

有田・・・潮岬の火祭り

岩崎・・・検討中

大森・・・北海道旅行

武田・・・和歌山城or高野山

中嶋・・・なし

菱田・・・検討中

的場・・・なし

南川・・・白馬三山縦走

宮原・・・検討中

山口・・・検討中

小野、川嶋、桑野、田中、中口、中谷、西本・・・未確認

### 4. 映像祭関係

#### 4.1 映像祭プログラム

映像祭プログラムを各自に配布しました。

これを利用して映像祭PRの推進を依頼しました。

#### 4.2 場内アナウンスのリハーサル

9月11日(木)14:40～写楽にてアナウンス・ベースの通しリハーサルを行います。

アナウンス担当の広橋さんには原稿を渡しています。

#### 4.3 映像と機材操作を含めた総合リハーサル

総合リハーサル予定:10月11日(土)又は12日(日)フォルテ・ワジマにて

#### 4.4 関係官庁

文化協会後援申請済みです。

### 5. 県連情報メール未着問題

現在未解決です。

クラブ員の中にも未着のメンバーが多数いますので早急に対処の必要があります。

問題の現象・・・県映像連盟会報87号は発信されたが、メールが届かない現象が多発した。

問題の原因・・・NHKからのコンテスト・コメントをスキャナーして映像(jpg)として発信したため、

データが大き過ぎ、プロバイザーでデータがカットされた。

(1枚当り3～4MG x 複数枚)

問題の解決・・・原稿をOCRで読み取りワードのデータ化するか、現在の映像を400KB

程度にリサイズして再送する。

### 6. 写楽用パソコン検討

初期に購入した写楽用のパソコンが故障しているため、代替機として下記のノートパソコンを検討しました。検討の結果、写楽活動に適しているように思われるので、会長の意向を確認した上で購入することとしました。

メーカー:IIYAMA モデル:15H5100-i7-FS 販売所:パソコン工房

仕様:画面出力:HDMIx1、D-SUBx1 USB:3.0x2、2.0x1

無線LAN:IEEE802.11b/g/n マザーボード:Intel HM86

ブルーレイ・ドライブ:外付け

OS	: Windows(R) 7 Home Premium 64 ビット
DISPLAY	: 15.6 型 光沢(1920×1080) ※タッチ非対応
CPU	: Core i7-4710MQ
HDD	: 1TB
MEMORY	: 8GB
OPTICAL	: DVD MULTI
GPU	: HD Graphics 4600

保証:3年保証

金額:108,191円

要検討事項:これで写楽の会計はほぼ0となるので、今まで行ってきた交通費の補助などについて今後どのようにするか検討する必要があります。

## H15.6 Standard



### [ 第三部 ] ≪ 試写・報告 ≫

1. 千田祭1300年祭 HD 11分 川嶋 健弘

ナレーションや関連映像の挿入などかなりうまく改善されていました。ナレーションの音声レベルなどももう少し改善の余地がありますのでがんばりましょう。

2.1200年祭中門撮影の記録を撮る HD 8分 西本 喜多郎

平成26年8月26日テレビ和歌山で放送された映像です。西本さんが長年にわたって撮影してきた様子が良く伝わった番組でした。

ヘルメット姿で撮影する西本さんの姿が大変格好良く見えました。

#### ..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年10月5日(第1日曜日)13時00分から16時30分

会 場 : 中央コミュニティー・センター 2階活動室2

和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678

行 事 : ビデオ作品上映と情報交換等

当 番 : (メイン) 中口・(サブ)川嶋

# 会 報

第606号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町 2-31 南川 陽一内 Tel. 073-423-0390  
yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

## <10月例会>

[日時・場所] 平成26年10月5日(日)13:00～15:00 於中央コミュニティセンター 2階活動室(2)

[出席] 北野、有田、岩崎、大森、川嶋、武田、中口、中嶋、菱田、南川、宮原

<20名中11名出席>

[作品出席] なし

[届出欠席] 小野、桑野、中谷、的場、山口

[第一部] << 作品発表 >> \*コメントは作者自身によるものです。

1. 八咫の火祭り HD 15分10秒 川嶋 健弘

今年も8月30日、本宮大社の御参りに行って来ました。この火祭りは始まってから20年位とまだ日が浅いので知らない人が多いのか見物人は少ないです。祭りはおごそかに行われて感動しました。

太鼓や歌や踊りがあり、最後は花火大会で9時半ごろ終わりました。何回行ってもよいものです。

2. 清流 HD 3分05秒 岩崎 好宏

7月の早朝に竜神で撮影したものです。一服の清涼剤としてシンプルに仕上げた4K作品をHD変換しました。

3. 紙漉き体験 HD 6分20秒 武田 雅治

紙漉き体験教室がありましたのでその模様を撮影しました。映像作品というより記録作品です。教室が狭かったので手持ちで撮影しました。

4. 福定の大銀杏 HD 1分10秒 有田 俊雄

田辺市中辺路町福定にある宝泉寺という小さなお寺の境内にそびえ立つ町の天然記念物に指定された大銀杏です。推定樹齢400年といわれる大木で、幹から枝が林立していることから、「千本銀杏」とも呼ばれています。

5. 和歌山城の桜他 HD 7分 大森 茂男

当日天気も良いので桜も満開、時間もあるしで和歌山城の方へ撮影に来ました。毎年眺めてきましたが桜はいつ見ても綺麗です。関係者の色々と面倒を見ることも大変でしょうと思ながらの見物でした。屋根の上の花も良く咲いていたので追加撮影しました。

6. 高野山の石楠花 HD 4分10秒 宮原 昌弘

平成26年5月6日、高野山三昧院のシャクナゲを撮影に行きましたがまだ時期が早く蕾でした。周辺のシャクナゲは満開でしたのでそれを撮影しました。

[ 第二部 ] << 報告・連絡 >>

1. 和歌山県アマチュア映像連盟主催第44回映像コンクール出品リスト

去る9月30日応募〆切りの県映像コンクール、当クラブの応募作品は、下記の通りです。  
応募ご協力有難うございました。

(順不同)

	氏 名	作 品 名	HD・SD	上 映 時 間	所属クラブ	アスペクト
01	菱 田 公 造	花に誘われて・カメラマンのひとりごと	HD	8分00秒	和歌山	16:9
02	田 中 正 男	加太見て歩記	HD	7分36秒	和歌山	16:9
03	中 口 清 治	石楠花が咲くころ	HD	9分00秒	和歌山	16:9
04	山 口 隆	和歌の浦片男波公園 万葉の小路を訪ねて	HD	9分50秒	和歌山	16:9
05	岩 崎 好 宏	シヤクナゲを求めて高野山へ	HD	6分00秒	和歌山	16:9
06	武 田 雅 治	和歌山城・散策	HD	8分30秒	和歌山	16:9
07	有 田 俊 雄	本州最南端の火祭り	HD	3分36秒	和歌山	16:9
08	桑 野 強	第3回高野山海南マラニック	HD	11分50秒	和歌山	16:9
09	南 川 陽 一	白馬三山縦走	HD	15分00秒	和歌山	16:9
10	川 嶋 健 弘	千田祭り 須佐神社御鎮座1300年奉祝祭	HD	10分00秒	和歌山	16:9
11	宮 原 昌 弘	高野山の石楠花	HD	4分08秒	和歌山	16:9

他に紀の川映像クラブ 7作品、打田映像クラブ 0作品、ビデオサークル紀南 2作品の応募があり、10月3日  
県映像連盟事務局より、NHK和歌山放送局・チーフカメラマン畑中氏に審査のため提出されました。

2. 和歌山映像クラブ「第47回映像祭」準備状況(確認)

- (1) 映像祭、11月1日(土)メディア・アート・ホールで、13:30～ …開催決定
- (2) 官庁・メディア等へのプログラム配布…完了
- (3) 映像祭案内はがき…発送済
- (4) 会場進行リハーサル…完了
- (5) 上映作品14本…収集完了
- (6) NHKへのPR放送依頼…済
- (7) アート・ホールとの上映進行打合せ…10月16日13時(小野、桑野、岩崎、川嶋)
- (8) 上映機材の点検…プロジェクター借用手配済  
リモコンの電池交換その他は通し上映リハーサル時に点検予定
- (9) 通し上映リハーサル…10月11日(土)フォルテワジマ会場にて…予定  
なお、映像祭映写担当…菱田氏の事情により岩崎氏に変更  
当日(11/1)担当:◎桑野、岩崎、川嶋の皆さんでお願いします。
- (10) パワーポイント投射のため、ノートパソコン(小野氏)の点検、内容調整

3. 年度賞コンクールの準備

- (1) 出品作品の確認  
宮原:高野山の石楠花  
その他未定

- (2) 会場決定の確認  
11月15日(土)フォルテワジマ・C会議室
- (3) 上映機材の確認  
TV(借用)、プレイヤー(持ち込み・川嶋)
- (4) 高野先生の送迎  
例年通り行います。  
お迎え:市駅⇒会場( )  
お送り:会場⇒市駅( )
- (5) 昼食の予約手配  
フォルテワジマ地下食堂を利用します。  
場所予約は済  
人数予約は11月13日(木)の予定

#### 4. 的場氏の入院の件

従来通り有志でお見舞いします。

#### 5. その他

第18回大阪アマチュア映像祭 11月 2日(日) 大阪市立中央図書館5F  
第54回映像フェスティバル(大阪ムービーサークル) 11月16日(日) 大阪市立中央会館  
のプログラムをビデオサークル紀南・岡本様より頂きましたので希望会員に配布しました。

### [ 第三部 ] << 試写・報告 >>

なし

#### ..... 次回の例会 .....

日 時 : 平成26年11月15日(第3土曜日)9時30分から16時30分  
会 場 : フォルテワジマ6F・C会議室  
和歌山市本町2丁目1番地 フォルテワジマ6F  
行 事 : 平成26年、年度賞コンクール  
当 番 : (メイン) 川嶋・(サブ) 菱田

# 会 報

第607号

発行者：会 長 小野 誠之

編集者：事務局長 南川 陽一

事務局：和歌山市東長町2-31 南川 陽一内 Tel.090-7754-6633

yminagaw@kd5.so-net.ne.jp

## <11月例会>

[日時・場所] 平成26年11月15日(土)10:00～16:30 於フォルテワジマ 6F C会議室

[出席] 北野、有田、岩崎、大森、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、南川、宮原、山口

<20名中13名出席>

[審査員] 高野武司先生

[作品出席] 小野

[届出欠席] 小野、的場

例年のように、11月の例会は、当クラブの年度賞コンクールを実施しました。今年11月は、この他に映像祭も開催しました。11月に二つの大きな行事があり、会員の皆様にご協力を頂き有難うございました。本年中の残る行事として総会があります。

年末で大変お忙しいと存じますが、引き続き総会事業へのご協力をお願いします。

## [1] 平成26年度 第47回 和歌山ビデオ映像祭(創立60周年記念)成功裏に終る。

今年は、当クラブが昭和29年に誕生してから、皆様のご支援で60周年の節目を迎えることができました。映像祭は、これを記念して「和歌山の映像」で特集プログラムを作成いたしました。

また、一方では、我々の活動を幅広く皆様に知って貰おうと、県立図書館文化情報センターが中心となって活動している「きのくにふれあい学習研究会」の主催する「オータム遊ing2014」行事に参加して、平成26年11月1日(土)、メディア・アート・ホールで開催しました。

「オータム遊ing2014」に参加させて頂いたことから、県立図書館副館長 澤田哲治様から、「オータム遊ing2014」について、ご挨拶を頂きました。

県映像連盟会長 松山 健様からのメッセージは、小野会長が代読させて頂きました。

祝電は、和歌山8ミリビデオサークル 鋤崎道弘様、打田映像クラブ会長 藤田 勉様、ビデオサークル紀南会長 森 裕治様より頂き、創立60周年を祝う映像祭に華をそえて頂くことができ誠に有難うございました。

## 記

1. 平成26年度 第47回 和歌山ビデオ映像祭
2. 日 時 平成26年11月 1日(土) 13:30～16:50
3. 会 場 県立図書館 2F メディア・アート・ホール
4. 上映作品 14作品(下記プログラムの通り)

5. 来場者数： 213名
6. 出席会員： 北野、有田、岩崎、小野、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、的場、南川、宮原、山口、広橋
7. 上映作品： テーマ:和歌山の映像

上映順	作品タイトル	時間	画質	制作者
1	本州最南端の火祭り	3:40	HD	有田俊雄
2	梅雨の那智山	7:40	HD	中嶋孝
3	汽車ポッポ わが街に行く	5:25	テレシネ	宮原昌弘
4	千田祭1300年祭	11:00	HD	川嶋健弘
5	紙漉きを楽しむ(遺作)	11:30	SD	前田幸男
6	第3回 高野山 海南マラニック	11:50	HD	桑野強
7	火と灯りのまつり	7:00	HD	武田雅治
8	大飯盛物祭	13:00	テレシネ	小野誠之
9	和歌浦あしべ通り	5:15	HD	的場信治
10	和歌の浦花めぐり	8:20	HD	中口清治
11	万葉の小路を訪ねて	9:50	HD	山口隆
12	おもいででの野上電車 小雨と夜と薄暮と	15:00	SD	菱田公造
13	紅葉溪のカワセミ	5:20	HD	岩崎好宏
14	和歌山城の秋	9:45	HD	南川陽一

8. 反省会： 従来は、映像祭終了後行っていたが、時間の都合で別途行うことにしました。
9. 反省記： 後日行った結果は、下記の通りです。

a.今年、上映開始時、上映スタートまでの時間が長く感じられ気になった。今までなかった上映上のトラブルについて、原因の究明を徹底し来年のトラブル防止に備えたい。

b.当日、放送大学の講義があるので、同大学駐車場を借りられず、ローソン近くの空地を当クラブスタッフ用として開放してもらった。

(3台駐車)

c.来場者は、図書館の駐車場を利用していたようだが、駐車出来ないとの苦情は聞こえてこなかった。ただし、入るまで待ち時間があつた方も数人おられました。

d.来場者の受付は、案内ハガキ持参者は、受付票への記帳を省略し、持参していない方のみ従来通り所定事項を一人一枚の受付票に記入して頂いた。案内ハガキ持参者とそうでない方の割合は、ほぼ半々であった。

e.案内ハガキの宛名欄に家族が連名で併記したものがあるが、それらの方の出欠チェックが、十分でなかった。



H26年度 映像祭会場



県立図書館副館長 澤田 哲治氏 ご挨拶



和歌山映像クラブ 小野会長 挨拶



和歌山映像クラブ・メンバー記念写真

## 〔2〕平成26年度 年度賞コンクール開催

年度賞コンクールは、今年も高野先生に審査と講評をお願いし12作品によって行われました。各作品毎の的確なご指導を頂き、これらを身に会得するよう努めたいと思います。

開催日 平成26年11月15日(土)10:00～16:50

会場 和歌山市本町二丁目 フォルテ・ワジマ 6F C会議室

出席者 北野、有田、岩崎、大森、川嶋、桑野、武田、中口、中嶋、菱田、南川、宮原、山口

審査者 高野武司先生

## 平成26年度 年度賞コンクール応募作品と審査結果

上映順	作品タイトル	制作者	時間	画質	審査結果
1	大雪山 旭岳	大森 茂 男	9:00	HD	
2	本州最南端の火祭り	有 田 俊 雄	5:00	HD	
3	第3回 高野山 海南マラニック	桑 野 強	11:50	HD	佳作(四席)
4	万葉の小路を訪ねて	山 口 隆	9:50	HD	
5	友ヶ島第一砲台・第二砲台を撮る	菱 田 公 造	8:00	SD	銅賞(三席)
6	高野山の石楠花	宮 原 昌 弘	4:10	HD	
7	ネアンデルタール	岩 崎 好 宏	5:00	HD	金賞(一席)
8	感動の白き山々	小 野 誠 之	12:20	HD	
9	和歌山城散策	武 田 雅 治	8:30	HD	佳作(五席)
10	聖地を荘厳する石楠花	中 口 清 治	9:00	HD	
11	やたの火祭り	川 嶋 健 弘	15:00	HD	
12	乗物でめぐるアルプス・トレッキング	南 川 陽 一	15:00	HD	銀賞(二席)

(注) 上映順はクジにより決めました。

### 年度賞コンクール講評

高野 武司先生

大変レベルの高い作品が多く、僕の判断で同点のものが出ました。順位をつけるため再検討の結果5作品を選ばせて頂きました。順の点では同点とと思ってください。同じレベルだと言うことです。

入賞作品外にも、小野さんの「感動の白き山々」、中口さんの「聖地を荘厳する石楠花」は、非常に見ごたえがありました。もう少し編集で整理すれば良くなると思います。

タイトルやコメントの文字挿入は、読めることが大切で、字が小さかったり字数が多くて、読み終わらないうちに、絵が次になってしまうのは頂けません。

タイトルを見て、これは何だろうと人を引き付け、次に映像を見て、なるほどと思えるものが良い(印象に残る)と思います。また、難しい言葉(文字)などは、避けた方が良いでしょう。



高野先生



和やかに行われたコンクール会場

### 入賞作品評

#### 1. 金賞 「ネアンデルタール」

岩崎 好宏 作品

想像できないような展開で、これは、創造性の高い作品で簡単に作ろうとしても作れるものでな

いし、一人の力で出来たものではありません。いろいろなものが積み重なって、作品になったと思います。これだけのものが、5分という時間に抑え込まれたことは素晴らしいと思います。

2. 銀賞「乗物でめぐるアルプス・トレッキング」 南川 陽一 作品

アルプスは、お天気が良くないことが多いのですが、今回は、完璧な晴天に恵まれ、狙ったものは全部しっかりと撮られていて、映像がすっきりと見られて、良い映像で作られています。

3. 銅賞「友ヶ島第一砲台・第二砲台を撮る」 菱田 公造 作品

実際は、もっとロングが欲しいのですが、映像はしっかりとしています。現在との対比の様に撮られています、もう少しまとまれば、もっと面白くなったと思います。

4. 佳作「第3回 高野山 海南マラニック」 桑野 強 作品

非常に難しい絵を、あっちこっちと動きながら、映像を拾い撮りされています。走っている絵を重ねる時は、つながりにくいことがよくあり、インサートカットを用いるとうまく仕上がります。映像を拾うということは大切なことですから、いいなと思ったら数多く拾って下さい。

5. 佳作「和歌山城散策」 武田 雅治 作品

この作品は、小野さんの「感動の白き山々」と同点となりまして、この映像も素晴らしくいいのですが、どちらかという、和歌山城散策の方が、良く調べられたコメントも入っていて、作品としての完成度が高かったということで、佳作(5席)に選びました。

### 〔3〕 退会のご挨拶

11月15日、年度賞コンクールの会場で中嶋さんから退会のご挨拶がありました。

中嶋さんは平成14年に入会されて以来、舞鶴港の引揚の話や余部鉄橋の風景など多くの印象に残る作品を私たちに見せて下さいました。

ありがとうございました。

お体の具合で残念ながら今年いっばいで退会されるとのことでした。

これからはお体を大切にされて、メンバーからは外れますが我々の良き先輩として引き続きお付き合い下さることをお願いいたします。

### 〔4〕 総会議案書の事前検討のお願い

総会議案書の作成日程が例年より少々遅れていますが、11月中に配布できるよう努力中です。

総会をスムーズに運営できるようにしたいので、お忙しいと存じますが、議案書(案)を配布後、各自に於いて、検討をお願いします。問題が発見されましたら、会長に連絡をお願いします。

必要に応じ修正し、総会運営の効率化を図りたいと思います。

なお、当クラブの総会は、平成26年12月14日(日)13時から開催します。

会場は、中央コミュニティセンター2階 活動室4です。

出席願います。

### 〔5〕 秋の撮影会開催報告

年間計画となっています、秋の撮影会を11月20日(木)、「奈良公園の秋」をテーマに、当日は好天にも恵まれ実施しました。

参加者は、南川、岩崎、山口、武田、川嶋、中口の6名です。(□は、車提供)

1月11日(日)の新年初の例会で撮影会での作品を、皆さん発表することにしましょう。

楽しみにしています。



奈良県庁屋上にて バックは東大寺と若草山



奈良公園 依水園の紅葉



奈良公園 若草山を望む

## 〔6〕 紀の川映像クラブ映像祭表敬

去る10月26日(日)、橋本市東部コミュニティセンター(隅田地区公民館)で、13時より紀の川映像クラブ「第47回ビデオ映像祭」が開催されました。

和歌山映像クラブより親睦と表敬のため小野、南川の2名が行ってきました。

上映作品は、10作品で、中でも丹生都比売神社の農耕神事「御田祭」の仕草がコミック的で気楽に見せて頂きました。



橋本市東部コミュニティセンターでの映像祭

## 〔7〕 第44回 県アマチュア映像コンクール審査結果発表

平成26年11月26日(水)、NHK和歌山放送局にお願いしていました上記コンクールの結果報告を受けました。和歌山映像クラブ会員の入賞者は、下記の通りです。審査講評等詳細は、県映像連盟会報に掲載されます。

県議会議長賞	「白馬三山縦走」	南川 陽一
県観光連盟会長賞	「千田祭り」	川嶋 健弘
県映像連盟会長賞	「石楠花が咲くころ」	中口 清治

## 〔8〕 平成27年度 NHK杯映像コンクール応募作品制作のお願い

来年度のNHK杯映像コンクール作品のテーマは、「乗り物」と発表されています。応募締切日は、平成27年5月31日で、まだ時間があるとお考えでしょうが、締切日はすぐに来ます。

今から応募作品のご準備をよろしくお願いいたします。

## 〔9〕 第18回ビデオサークル紀南映像祭開催

- ・ 平成26年12月7日(日) 13:00 開場、13:30上映
  - ・ 中辺路コミュニティセンター 1階 大会議室
- 上記映像祭が開催されますので、親睦、表敬のため参加をお願いします。

## 〔10〕 クラブ忘年会の開催

和歌山映像クラブ、平成26年度の忘年会は、12月4日(木)写楽活動後、紀三井寺「はやし」で開催しますから、万障繰合わせの上で出席して下さい。

参加・不参加を、12月2日まで、会計担当(桑野)宛連絡して下さい。

日程:12月4日(木) 17時～18時(入浴時間)、18時～20時(宴会)、会費5,000円

## 〔11〕 平成27年度 和歌山映像クラブ年会費の納入のお願い

総会当日、平成27年度 当クラブの年会費¥7,000.-を集めさせていただきます。なお、総会を欠席される方は、平成27年1月31日までに「ゆうちょ銀行」より、下記口座に振り込みをお願いします。

振り込み取扱書[用紙]は、ゆうちょ銀行[郵便局窓口]でもらってください。

(口座記号)	(口座番号)	(加入者名)
00950-4-	268902	小野誠之

## ..... 次 回 の 例 会 .....

日 時 : 平成26年12月14日(第2日曜日) 13時から16時30分  
会 場 : 中央コミュニティセンター 2階 活動室  
和歌山市三沢町1-2 TEL:073-402-2678  
行 事 : 平成26年度 和歌山映像クラブ総会  
当 番 : 小野